

センター/支部名: 東京国際研修センター
 (記載者名) 白須賀明子

1 研修コース名: 第9次韓国技術者研修 (集団・個別) 6 評価基準:
 2 担当講師: 白須賀明子 平岡 彰子 (研2. 鈴木)

3 日本語研修期間: 平成4年9月2日 ~ 平成4年9月22日 (9回)

4 学習時間: 1回2.5時間 → 総 40 時間

5 学習内容:

- 1) 文字 ひらがな カタカナ 漢字
- 2) テキスト/最終進度 その他
- 初級
 - 第1分冊 ローマ字版
 - " 漢字かな版
 - 第2分冊
 - 第3分冊
 - 中級・上級
 - 第4分冊
 - 第5分冊
 - 第6分冊
 - 第7分冊
 - 分野別工業技術
 - " 農業技術
 - " 保健医療
 - その他 ()
- 約 時間

② 平常活動による評価 (平常評価)

評価基準	到達率	到達度
a	100 ~ 75%	到達目標に十分達している
b	74 ~ 50	到達目標にある程度達している
c	49 ~ 25	到達目標に達していない
d	24%以下	到達目標にほど遠い

3) 補助教材・活動プログラム等

VTR 映像解子ブ 見学 絵と文字 日本語 その他 ()

4) 専門用語 ()

(到達目標 Z)

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 既習歴	① 認定試験による評価 聞く/話す 読む/書く 得点率 評価	② 平常評価(最終時) 聞く/話す 読む/書く レベル	特記事項
1	Mr. Kwon, Yung-Chul Ms. 權永哲	韓国	無 学習期間 研修/20 100%	試験 I II III /	a a 3	
2	Mr. Choi, Giun-Og Ms. 崔金沃	韓国	無 学習期間 研修/20 100%	試験 I II III /	a a 4	

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 既習歴	①認定試験による評価 聞く／話す 読む／書く 得点率 評価	②平常評価(最終時) 聞く／話す 読む／書く レベル	総合 評価 レベル	特記事項
3	Mr. Kim, Young-Su Ms. 金榮洙	韓国	無、(有) 学習期間 / 20H	試験 I II III	a b	2	
4	Mr. Lee, Seok-Je Ms. 李錫濟	韓国	無、(有) 学習期間 "	試験 I II III	a b	2	
5	Mr. Yuk, Ho-Keun Ms. 陸浩根	韓国	無、(有) 学習期間 / 20H 100H	試験 I II III	a b	2	
6	Mr. Kim, Chul-Soo Ms. 金哲洙	韓国	無、(有) 学習期間 / 20H	試験 I II III	a b	2	
7	Mr. Park, Jong-Hoi Ms. 朴鍾會	韓国	無、(有) 学習期間 "	試験 I II III	a b	2	
8	Mr. Jang, Fun-Iwan Ms. 張銀煥	韓国	無、(有) 学習期間 "	試験 I II III	b b	2	
9	Mr. Shin, Ilyuk-Geun Ms. 辛赫根	韓国	無、(有) 学習期間 "	試験 I II III	a a	3	

No 3

No.	氏名	国籍	米日前の 日本語 習歴	①認定試験による評価			②平常評価(最終時)			総合 評価	特記事項
				聞く/話す 得点率	読む/書く 得点率	得点率 評価	聞く/話す 得点率	読む/書く 得点率	得点率 評価		
10	Mr. Kang, Chan-Soo Ms. 姜謙洙	韓国	無、有 学習期間 /20H	試験 I II III	/	/	b	b	2		
11	Mr. Kang, Sung-Woo Ms. 姜聲元	韓国	無、有 学習期間 "	試験 I II III	/	/	a	b	2		
12	Mr. Ko, Yeong-Joo Ms. 高永周	韓国	無、有 学習期間 "	試験 I II III	/	/	a	a	4		
13	Mr. Park, Yong-Suk Ms. 朴容錫	韓国	無、有 学習期間 "	試験 I II III	/	/	a	a	3		
14	Mr. Won, Jang-lee Ms. 元章賢	韓国	無、有 学習期間 "	試験 I II III	/	/	a	b	2		
15	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III	/	/					
16	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III	/	/					

センター/支部名: 東京国際研修センター
(記載者名 榎野久美子)

1 研修コース名: 第9次韓国技術者研修 (集訓・個別) (研2. 鈴木)

2 担当講師: 榎野久美子 松岡 幸子

3 日本語研修期間: 平成4年9月2日 ~ 平成4年9月22日(9回)

4 学習時間: 1回2.5時間 → 総 4.0 時間

5 学習内容:

1) 文字 ひらがな カタカナ 漢字

2) テキスト/最終進度

- 初級
 - 第1分冊ローマ字版
 - " 漢字かな版
 - 第2分冊
 - 第3分冊
- 中級・上級
 - 第4分冊
 - 第5分冊
 - 第6分冊
 - 第7分冊
- その他
 - 分野別工業技術
 - " 農業技術
 - " 保健医療
 - その他()

4.5 課まで 約 時間

3) 補助教材・活動プログラム等

VTR 聴解テープ 見学 その他()

4) 専門用語 () (到達目標 2)

評価基準	得点率	到達度
A	100 ~ 75%	到達目標に十分達している
B	74 ~ 50	到達目標にある程度達している
C	49 ~ 25	到達目標に達していない
D	24%以下	到達目標にほど達しない

② 平常活動による評価 (平常評価)

評価基準	到達率	到達度
a	100 ~ 75%	到達目標に十分達している
b	74 ~ 50	到達目標にある程度達している
c	49 ~ 25	到達目標に達していない
d	24%以下	到達目標にほど達しない

No.	氏名	国籍	米日前の 日本語 既習歴	① 認定試験による評価			総合 評価 レベル	特記事項
				聞く/話す 得点率	読む/書く 得点率	読む/書く 得点率		
1	Mr. Lee, Dong-Jun Ms. 李東蒼	韓国	無(有)試験I 学習期間 /20H	試験I II III	試験I II III	試験I II III	a	3
2	Mr. Kim, Won-Ki Ms. 金元基	韓国	無(有)試験I 学習期間 "	試験I II III	試験I II III	試験I II III	a b	4

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 習歴	①認定試験による評価 聞く／話す：読む／書く 総点率 評価 総点率 評価	②平常評価(最終時) 聞く：話す：読む：書く	総合 評価 レベル	特記事項
3	Mr. Park, Gone-Ileon Ms. 朴坤燮	韓国	無、(有)試験 I 学習期間 120H	/	b b	2	
4	Mr. Ha, Nak-Ilong Ms. 河洛泓	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	b a	3	
5	Mr. Ryoo, Kyung-Ilo Ms. 柳敬奥	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	a b	4	
6	Mr. Shin, Ku-Dong Ms. 申九鳳	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	a b	3	
7	Mr. Choi, Myung-Sik Ms. 崔明植	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	a a	4	
8	Mr. Lim, Hyen-Tack Ms. 林玄澤	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	a b	3	
9	Mr. Kim, Juen-Koun Ms. 金鎮官	韓国	無、(有)試験 I 学習期間	/	a b	3	

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 講習歴	①認定試験による評価 聞く／話す／読む／書く 得点率 評価 得意率 評価	②平常評価(最終時) 聞く／話す／読む／書く	総合 評価	特記事項
10	Mr. Na, Seung-Jun Ms. 羅承竣	韓国	無、 <u>有</u> 学習期間 12c H	試験 I II III	a a	3	
11	Mr. Kim, Kyung-Eun Ms. 金京銀	韓国	無、 <u>有</u> 学習期間 "	試験 I II III	a b	4	
12	Mr. Lim, Chang-Gil Ms. 林昌吉	韓国	無、 <u>有</u> 学習期間 "	試験 I II III	b b	2	
13	Mr. Seung, Tek-Yu Ms. 柳承宅	韓国	無、 <u>有</u> 学習期間 "	試験 I II III	a a	3	
14	Mr. Ms.		無、 <u>有</u> 学習期間	試験 I II III			
15	Mr. Ms.		無、 <u>有</u> 学習期間	試験 I II III			
16	Mr. Ms.		無、 <u>有</u> 学習期間	試験 I II III			

第39回 日本語能力総合評価表

No. /

センター/支部名: 東京国際研修センター
(記載者名 佐々木 和子)

6 評価基準:

① 認定試験による評価

(集団・個別)

(例2. 鈴木)

平置 彰子

1 研修コース名: 第9次韓国技術者研修

2 担当講師: 佐々木和子 新井 弘泰 平置 彰子

3 日本語研修期間: 平成4年9月2日 ~ 平成4年9月22日 (9回)

4 学習時間: 1回2.5時間 → 総 40 時間

5 学習内容:

1) 文字 ひらがな カタカナ 漢字

2) テキスト/最終進度 初級 中級・上級
 第1分冊 ローマ字版 分野別工業技術
 " " 漢字かな版 " 農業技術
 第2分冊 " " " 保健医療
 第3分冊 その他() 約 時間

3) 補助教材・活動プログラム等

OVR 聴解テープ 見学 その他()

4) 専門用語 () (到達目標 2)

評価基準	得点率	到達度
A	100 ~ 75%	到達目標に十分達している
B	74 ~ 50	到達目標にある程度達している
C	49 ~ 25	到達目標に達していない
D	24%以下	到達目標にほど達しない

② 平常活動による評価 (平常評価)

評価基準	到達率	到達度
a	100 ~ 75%	到達目標に十分達している
b	74 ~ 50	到達目標にある程度達している
c	49 ~ 25	到達目標に達していない
d	24%以下	到達目標にほど達しない

No.	氏名	国籍	来日前の日本語 既習歴	①認定試験による評価 聞く/話す 得点率 読む/書く 得点率	②平常評価(最終時) 聞く/話す 読む/書く	総合 評価 レベル	特記事項
1	Mr. Choi, Young-Soo Ms. 崔榮壽	韓国	無、() 既習期間 研修120h 研修67h (計300h)	試験 I II III	a	4	
2	Mr. Hong, Seung-Ming Ms. 洪承蒸	韓国	無、() 既習期間 研修120h 研修240h	試験 I II III	a	4	

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 既習歴	①認定試験による評価 聞く/話す/読む/書く 得意な評価/得意な評価	②平常評価(最終時) 聞く/話す/読む/書く	総合 評価 レベル	特記事項
3	Mr. Kim, Yun-Ki Ms. 金允基	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 57h	試験 I II III	a	4	
4	Mr. Park, Seok-Won Ms. 朴奭原	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 120h	試験 I II III	a	4	
5	Mr. Hyun, Jin-Ilo Ms. 玄振浩	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 140h 独学 2	試験 I II III	a	3	
6	Mr. Lee, Kwan-Sup Ms. 李官燮	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 5年	試験 I II III	a	4	
7	Mr. Kwon, Gyu-Sik Ms. 權奎植	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 3年	試験 I II III	a	3	
8	Mr. Ryu, Yong-Gi Ms. 柳永基	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 1年	試験 I II III	a	3	
9	Mr. Ji, Yong-Soo Ms. 池龍添	韓国	無、 学習期間 研修 120h 独学 40h	試験 I II III	a	3	

No.	氏名	国籍	来日前の 日本語 既習歴	①認定試験による評価			②平常評価(最終時) 聞く/話す/読む/書く	総合 評価	特記事項
				聞く/話す 得点率	読む/書く 得点率	得点率			
10	Mr. Oh, Chang-Ilyun Ms. 吳昌岐	韓国	無、 ^(B) 試験 学習期間 初付に0 後予6ヶ月	試験 I II III			a a	5	
11	Mr. Kim, Baek-Joon Ms. 金伯俊	韓国	無、 ^(B) 試験 学習期間 後4ヶ月	試験 I II III			a a	5	
12	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III					
13	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III					
14	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III					
15	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III					
16	Mr. Ms.		無、有 学習期間	試験 I II III					

日本醫 最終 TEST 結果

JICA (65名)

NO	研修生名	點數	NO	研修生名	點數
134	李錫	99.0	60	文洪	86.4
225	崔成	98.0	69	洪炳	86.0
191	金永	96.4	95	李基	85.6
188	鄭斗	95.5	46	金榮	85.3
269	鄭顯	95.4	94	張炳	85.1
82	丁鍾	95.0	47	盧景	83.9
19	李鍾	95.0	260	張炳	83.9
92	金鍾	94.5	108	文善	83.8
40	金桂	94.1	25	嚴亨	82.9
12	徐容	94.0	720	權烈	82.8
100	崔漢	93.8	189	宋永	82.5
154	李光	93.6	128	任五	82.0
13	高敬	93.0	48	任億	81.8
181	李仁	93.0	239	李乘	81.6
68	張世	93.0	199	李載	81.4
243	成問	92.8	108	李亨	80.8
39	李德	92.6	93	金景	80.4
102	全璵	92.0	130	文勝	80.0
217	全萬	91.8	101	林國	79.9
258	李相	91.6	40	尹東	79.5
228	金在	91.5	214	權奇	79.3
277	宋雨	91.0	133	李鏞	78.0
271	金仁	90.8	193	金承	77.0
225	琴輝	90.6	228	金潤	77.0
273	黃善	90.3	256	白台	74.9
10	金炯	90.0	210	陳錫	73.0
45	全園	89.8	132	權寧	73.0
7	朴魯	89.8	226	張炳	72.0
277	金三	88.9	54	朴三	71.3
54	黃金	86.9	96	李昌	71.0
91		86.5	135		64.0

NO	研 修 生 名	點 數
107	俞 亨 根	62.0
129	金 浩 超	57.0
260	樊 炳 求	54.3
111	朴 東 濤 (日本語研修免除)	
	以上 6名	

I-3-(7) オリエンテーション

オリエンテーション日程・名簿

I-3-(7) 7. 第9次韓国技術者研修計画オリエンテーション日程表

第9次 韓国技術者研修計画オリエンテーション日程表

平成4年8月26日現在

日付	午前 (09:00~12:00)	会場	午後 (13:30~16:30)	会場	宿泊場所	特言事項
8月30日(日)	来日指定日 KE704便 13:00 (成田へ研修員ピックアップ、後、東興ホテルへチェックイン)				東興ホテル	
8月31日(月)	開講式 (11:30~12:00)	日精ホール	歓迎昼食会 (12:00~14:00)	ニューオーケイ	東興ホテル	東興ホテル ☎ 03-3494-1050 尾形部長
9月1日(火)	フリーティング	ゆうほうと	【講義1】: 滞日生活ガイダンス (牛尾恵子CDN)	ゆうほうと	東興ホテル	ニューオーケイ 東京 ☎ 03-3779-9180 宴会予約: 細田さん
9月2日(水)	日本語① (クラス分けテスト)	東興ホテル	【講義2】: 日本の地理 (立正大学 正井先生)	ニューオーケイ	東興ホテル	ゆうほうと 営業副支配人: 松野さん ☎ 03-3490-5111
9月3日(木)	日本語②	東興ホテル	日本語③	東興ホテル	東興ホテル	
9月4日(金)	日本語④	東興ホテル	日本語⑤	東興ホテル	東興ホテル	
9月5日(土)	都内バスツアー (東京外、皇居、浅草 8:45出発~13:30到着)				東興ホテル	
9月6日(日)	自由				東興ホテル	
9月7日(月)	日本語⑥	東興ホテル	日本語⑦	東興ホテル	東興ホテル	
9月8日(火)	日本語⑧	東興ホテル	日本語⑨	東興ホテル	東興ホテル	
9月9日(水)	日本語⑩	東興ホテル	日本語⑪	東興ホテル	東興ホテル	
9月10日(木)	【講義3】: 日本の文化 (神田外国語大成澤先生)	ゆうほうと	【講義4】: 日本の中小企業 (経団連 川本先生)	ゆうほうと	東興ホテル	*9/10 東興ホテル会議室満室
9月11日(金)	} 研修旅行【富士通 沼津工場見学、及び富士、箱根見学】 (7:30出発予定) (17:00到着予定)				ホテル大橋	河口湖研修センター ☎0535-72-0500
9月12日(土)					東興ホテル	
9月13日(日)	自由				東興ホテル	
9月14日(月)	日本語⑫	JICA47, 8階	日本語⑬	JICA47, 8階	東興ホテル	*9/14以降、東興ホテル会議室満室
9月15日(火)	祝日 (敬老の日)				東興ホテル	
9月16日(水)	【講義5】: 日本のハイテク (人選中)	ゆうほうと	【講義6】: 日本のQC (日本規格協会 川村先生)	ゆうほうと	東興ホテル	
9月17日(木)	都内大企業工場見学【ホンダ技研 狭山工場】 (11:30出発、13:30~16:00見学、18:00到着予定)				東興ホテル	
9月18日(金)	日本語⑭	JICA47, 8階	日本語⑮	JICA47, 8階	東興ホテル	
9月19日(土)	自由 (福利厚生日、東京メトロ三軒上見学 9:00出発予定)				東興ホテル	
9月20日(日)	自由				東興ホテル	
9月21日(月)	大田区中小企業団地、産業会館見学		東芝科学館等見学		東興ホテル	
9月22日(火)	日本語16 (日本語発表会)	ゆうほうと	評価会及び移動、研修に関する説明	ゆうほうと	東興ホテル	
9月23日(水)	自由 (秋分の日)				東興ホテル	
9月24日(木)	東興ホテルチェックアウト (各受入先企業へ移動)				受入企業宿舎	

【3か月研修】

11月24日(火)	研修員は各受入先から東京へ移動 (東興ホテルチェックイン)				東興ホテル	
11月25日(水)	評価会・閉講式 (10:00~12:00)	保険ホール	歓送パーティー (12:00~14:00)	ニューオーケイ	東興ホテル	
11月26日(木)	帰国指定日 (東興ホテルチェックアウト後、バスにて東興ホテルより成田へ)					

第9次韓国技術者研修計画 研修員リスト

平成4年8月26日現在

研修員番号	研 修 員					日 本 側 受 入 企 業		期間
	登録	氏名 (和・英)	国内所属先名	研 修 科 目	生年月日	受 入 企 業 名	住 所	
9203402	1	權永哲 KWON, Yung-Chul	馬山精密金型	金型設計及び金型製作技術	65-05-18	外山工業(株)	〒955 新潟県三条市南四日町 3-6-43	3
9203403	218	金榮文 KIM, Young-Mun	宇慶産業(株)	金型設計及び金型製作技術	64-11-07	〃	〃	3
9203404	6	李東濬 LEE, Dong-Jun	世進機械(株)	送風機	64-09-08	荏原工機(株)	〒517 三重県鈴鹿市高岡町 2470	6
9203405	18	金徳洙 KIM, Duk-Soo	極東産業機械(株)	LOAD CHAIN製造技術	62-06-01	㈱ニッチ	〒578 東大阪市吉田 4-7-17	3
9203406	21	扈鍾佑 HO, Jong-Woo	明和工業(株)	自動車用オイルポンプの製造技術	61-01-18	㈱大盛鉄工所	〒736 広島県安芸郡海田町南本町 2-38	3
9203407	22	李永洙 LEE, Yong-Soo	〃	自動車用オイルポンプの製造技術	65-05-06	〃	〃	3
9203408	23	鄭然泰 JUNG, Youn-Tae	〃	品質管理、原価管理	62-01-17	〃	〃	3
9203409	24	白雲吉 BACK, Un-Gil	〃	品質管理、製造技術	59-06-01	〃	〃	3
9203410	25	裴龍詔 BAE, Youn-Choul	〃	自動車用オイルポンプの製造技術	65-03-10	〃	〃	3
9203411	26	崔金沃 CHOI, Gium-Og	〃	品質管理、製造技術	61-10-05	〃	〃	3
9203412	27	張錫福 JANG, Seok-Book	RANEE 精密(株)	金型設計及び金型製作	62-07-12	(有)加藤製作所	〒509-02 岐阜県可児市谷迫間姫ヶ丘 2-16	3
9203413	28	催栄壽 CHOI, Young-Soo	〃	金型設計及び金型製作	66-07-03	〃	〃	3
9203414	53	金元基 KIM, Won-KI	宰 金型精工(株)	CAM	61-09-02	㈱大日金型製作所	〒566 大阪府摂津市鳥飼本町 4-6-16	3
9203415	54	李正一 LEE, Jpung-IL	〃	金型設計 (CAD)	66-02-21	〃	〃	3
9203416	55	李滿奎 LEE, Man-Kyu	〃	金型組立	65-07-05	〃	〃	3
9203417	56	金正松 KIM, Jeong-Song	〃	CNC Milling 加工技術	63-12-07	〃	〃	3
9203418	57	金命燮 KIM, Myung-Sub	大園産業(株)	品質改善方法	62-08-12	富士シート(株)	〒561 大阪府豊中市豊南町東 2-4-6	3
9203419	58	許在宣 HER, Jae-Seon	〃	在庫自動化システム及び物流管理	62-02-15	〃	〃	3
9203420	59	金榮洙 KIM, Young-Su	〃	PRESS工程及び作業管理	57-05-15	〃	〃	3
9203421	60	李錫濟 LEE, Seok-Je	〃	SPONGZ生産及び工程管理	62-10-15	東名化成(株)	〒470-01 愛知県愛知郡日進町大字米野木字細口 1-6	3
9203422	61	金載徳 KIM, Jae-Duk	大園産業(株)	包装及び人員管理	62-02-05	デルタ工業(株)	〒735 広島県安芸郡府中町新地 1-14	3
9203423	62	張象徳 JANG, Byeong-Duk	〃	包装及び生産管理	62-08-20	〃	〃	3
9203424	64	陸浩根 YUK, Ho-Keun	鮮一機械(株)	設備保全技術	69-06-13	旭サナック(株)	〒488 愛知県尾張旭市旭前 5050	3
9203425	65	金哲洙 KIM, Chul-Soo	〃	ボルト製造技術	64-05-27	㈱音戸工作所(八本松工場)	〒739-01 広島県東広島市八本松町飯田1844	3
9203426	66	崔貴鉉 CHOI, Gui-Hyun	〃	ボルト製造技術	60-02-20	〃	〃	3
9203427	80	鄭榮晤 CHEONG, Young-Oh	(株)東宝	自動車部品	61-10-07	広島精密工業(株)	〒732 広島県広島市南区大州 2-5-13	3
9203428	97	朴坤憲 PARK, Gone-Heon	(株)和信TECH	CAD/CAM機械加工	65-05-12	(株)日本プレス	〒721 広島県福山市箕沖町 86	3
9203429	99	崔閔基 CHOI, Yuon-GI	〃	CAD/CAM機械加工	66-12-28	〃	〃	3

研修員番号	研 修 員					日 本 側 受 入 企 業		期間	
	登録	氏名 (和・英)		国内所属先名	研修科目	生年月日	受入企業名		住 所
9203430	98	河 洛 泓	HIA, Nak-Hong	〃	金型製作技術	59-06-02	山川工業(株)	〒416 静岡県富士市五味島 19-1	3
9203431	100	金 鉉 峰	KIM, Hyun-Bong	〃	金型製作技術	60-02-28	〃	〃	3
9203432	102	柳 敬 昊	RYOO, Kyung-Ho	(株)和信製作所	自動車装備設計、製造	61-07-07	(株)ヨロス	〒222 神奈川県横浜市港北区樽町 3-7-60	3
9203433	103	崔 永 大	CHOI, Young-Dei	〃	溶接	58-08-01	〃	〃	3
9203434	104	申 九 眞	SHIN, Ku-Bong	〃	金型、プレス	56-01-17	〃	〃	3
9203435	105	梁 熙 錫	JANG, Hee-Suk	〃	金型、プレス	62-02-23	〃	〃	3
9203436	106	李 文 錫	LEE, Moon-Seok	〃	品質管理	58-10-18	〃	〃	3
9203437	107	金 東 翼	KIM, Dong-Ik	宇振工業(株)	金型、プレス	65-05-15	中部冷間(株)	〒444 愛知県岡崎市針先町字フロ 12	3
9203438	114	崔 明 植	CHOI, Myung-Sik	釜山精機(株)	ミシン製造技術	59-05-29	ブラザー工業	〒467 愛知県名古屋市長瀬区河岸 1-1-1	6
9203439	115	林 玄 澤	LIM, Hyen-Taek	〃	ミシンモーター製造技術	59-05-13	〃	〃	3
9203440	116	金 鎮 官	KIM, Jeon-Koun	〃	ミシンモーター製造技術	63-09-11	〃	〃	3
9203441	122	申 炳 俊	SHIN, Byoung-Jun	(株)東熙産業	自動車部品の金型製作	68-08-30	(株)富士テクニカ	〒411 静岡県駿東郡清水町の場 20	6
9203442	131	金 白 鉉	KIM, Back-Hyeon	(株)宇星金属	FURAN工法	65-08-08	(株)品川鋳造	〒940 新潟県長岡市宮下 420-5	3
9203443	148	崔 哲 林	CHOI, Suk-Lim	東林金属工業社	熱処理一般	55-03-21	(株)ナガト	〒732 広島県広島市南区大州 3-6-24	3
9203444	157	張 漢 圭	JANG, Han-Gyu	(株)新豊	熱処理一般	60-04-04	〃	〃	3
9203445	149	全 寅 植	JUN, In-Sik	進合精工(株)	ボルト鍛造	65-11-01	東洋圧造(株)	〒371-01 群馬県前橋市鳥取町 157-2	3
9203446	155	朴 炳 洙	PARK, Byung-Soo	(株)協進鍛鉄	プレス型鍛造品生産技術	58-04-30	(株)ダイトウ	〒334 埼玉県川口市本蓮 4-1-1	3
9203447	163	金 顔 杰	KIM, An-Gul	廣徳熱処理	金属熱処理	65-09-17	昭和熱処理(株)	〒196 東京都昭島市郷地町 3-7-4	3
9203448	164	朴 鍾 會	PARK, Jong-Hoi	英林産業(株)	プレス金型設計	64-09-16	(株)エフテック	〒346-01 埼玉県南埼玉郡葛蒲町昭和沼 19	3
9203449	165	金 景 洙	KIM, Kyoung-Su	〃	溶接	59-11-01	〃	〃	3
9203451	176	徐 高 錫	SEO, Go-Suk	〃	品質管理	62-05-29	帝国通信工業(株)	〃	3
9203452	177	申 容 淳	SIN, Yong-Soon	〃	生産管理の電算化及び電算開発	59-04-21	〃	〃	3
9203453	180	張 銀 煥	JANG, Eun-Hwan	大同CABLE 産業	自動車用ケーブル製造技術	63-07-10	日本ケーブルシステム(株)	〒665 兵庫県宝塚市栄町 1-12-28	3
9203454	181	洪 承 默	Hong, Seung-Mug	〃	金型及び生産技術	64-09-17	〃	〃	3
9203455	182	金 允 基	KIM, Yun-Ki	〃	自動車用ケーブル製造技術	63-03-01	〃	〃	3
9203456	183	朴 承 原	PARK, Seok-Won	〃	品質管理	61-03-08	〃	〃	3
9203457	184	李 相 鎬	LEE, Sang-Ilo	〃	金型及び生産技術	64-04-25	〃	〃	3
9203458	187	羅 承 竣	NA, Seung-Jun	建興電気(株)	工業用スイッチ接点製造技術	63-03-05	東京自動機(株)	〒116 東京都荒川区西尾久 7-28-1	6

研修員番号	研 修 員					日 本 側 受 入 企 業		期間
	登録	氏名 (和・英)	国内所属先名	研 修 科 目	生年月日	受 入 企 業 名	住 所	
9203459	193	安 基 鎔 AN, Ki-Yong	(株)宇進OIM 社	鉄道車両用VVVFシステム製造及び試験方法	54-03-19	(株)東芝電気事業本部	〒105-01 東京都港区芝浦 1-1-1	6
9203460	194	崔 準 赫 CHOI, Jun-Hyuk	〃	鉄道車両用VVVFシステム製造及び試験方法	64-04-05	〃	〃	6
9203461	195	金 吉 童 KIM, Gil-Dong	〃	鉄道車両用VVVFシステム製造及び試験方法	64-09-20	〃	〃	6
9203462	198	申 赫 根 SHIN, Hyuk-Geun	裡里SMK(株)	キーボード生産技術	62-09-05	(株)SMK	〒142 東京都品川区戸越 6-5-5	3
9203463	204	李 東 勛 LEE, Dong-Joek	国際電熱工業(株)	家庭用電熱機器製造技術	63-10-27	松下電器産業(株)海外研修所	〒573 大阪府枚方市菊丘南町 2-10	3
9203464	205	朴 権 熙 PARK, Gwon-Hee	東洋機電(株)	油圧バルブ製造技術	62-04-19	日本エーケー(株)	〒651 兵庫県神戸市中央区御幸通 7-1-12	3
9203465	206	姜 讚 洙 KANG, Chan-Soo	〃	油圧バルブ製造技術	61-03-02	〃	〃	3
9203466	221	姜 聲 元 KANG, Sung-Won	(株)TMC	PCB回路検査に係るJIG製造	62-09-23	オカノ電機(株)	〒203 東京都東久留米市金山町 2-8-18	3
9203467	222	金 景 銀 KIM, Kyung-Eun	〃	PCB回路検査に係るJIG製造	60-07-28	〃	〃	3
9203468	227	高 永 周 KO, Yeong-Joo	大徳電子(株)	印刷回路基盤管理、製造技術	66-12-09	(株)大昌電子	〒145 東京都大田区田園調布 2-16-5	3
9203469	229	金 伯 俊 KIM, Baek-Joon	〃	印刷回路基盤管理、製造技術	62-02-13	〃	〃	3
9203470	230	林 昌 吉 LIM, Chang-Gil	〃	印刷回路基盤管理、製造技術	63-09-10	〃	〃	3
9203471	231	玄 振 浩 HYUN, Jin-Ho	〃	印刷回路基盤、設計	64-10-27	〃	〃	3
9203472	238	李 官 燮 LEE, Kwan-Sup	前進産業(株)	薬剤選抜方法、品質管理	58-08-16	日本曹達(株)	〒100 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル	3
9203473	239	朴 容 錫 PARK, Yong-Suk	〃	農薬の効力検定法	60-06-06	〃	〃	3
9203474	242	權 奎 植 KWON, Gyu-Sik	友里化学工業(株)	有機合成	61-04-22	工業技術院 化学技術研究所	〒305 茨城県つくば市東 1-1	3
9203475	270	李 成 熙 LEE, Sung-Hee	泰成ゴム化学(株)	工業用ゴム部品品質管理	66-04-18	淡路産業(株)	〒583 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 5-43	3
9203476	273	柳 永 基 RYU, Yung-Gi	味のり食品(株)	味噌、醤油製造技術	61-04-26	長野味噌(株)	〒386 長野県上田市天神 3-9-29	3
9203477	274	元 章 喜 WON, Jang-Hee	名家食品(株)	味噌、醤油製造技術	60-02-16	〃	〃	3
9203478	275	朴 大 喜 PAK, Dae-Hee	〃	こんにゃく、豆腐製造技術	59-12-19	(株)柳橋食品	〒522 滋賀県彦根市平田町 1128	3
9203479	276	池 龍 洙 JI, Yong-Soo	味のり食品(株)	豆腐製造技術	65-03-10	〃	〃	3
9203480	280	朴 純 亨 PARK, Soon-Hyeong	正本産業(株)	紙器印刷、骨板紙加工設計	57-02-06	松原紙器(株)	〒485 愛知県小牧市小木 1-1	3
9203481	281	吳 昌 眩 OH, Chang-Hyun	三元精工社	プラスチック・金型製造	69-06-10	(株)小林金型工業所	〒959-11 新潟県南蒲原郡栄町帯織 9237	6
9203482	283	柳 承 宅 YU, Seung-Tek	〃	プラスチック・金型製造	68-07-21	〃	〃	6

以上 { 受入企業数 40社
参加研修員数 80名 { 3カ月研修員 71名
6カ月研修員 9名

I-3-(7)ウ. オリエンテーションに関する評価会

1班 CDN 埴岡 美矢
研修員番号9203403 ~ 9203429
(28名)

I. 期間

- ・期間は適当である。(若干名延長を望む声もあった。)

II. 内容

1) 日本語

- ・会話形式の学習方式にも係らず、1クラスの人数が多すぎた。先生とのコミュニケーションも取りづらく、効果的ではなかった。
- ・目的のはっきりしない反復練習が多かった。
- ・1クラス1名の担任教師で行ってほしい。(同じ教師で)
- ・時間が短い
- ・韓国語のできる教師のほうが効果的だ。
- ・発表は全員するのが望ましい。(クラス毎に)
- ・AOTS式の教科書にしてほしい。(翻訳付が良い)

2) 講義

- ・JICAブリーフィング; JICAに対する説明が不足
- ・生活ガイダンス; 非常に助けになる。余暇活用に関する案内も聞きたい。
- ・日本の地理; 分かり易く良かった。
- ・日本の中小企業; 統計・数値が多く、内容が不足。実際に生産工程にいる人の具体的な話を聞きたい。
- ・日本のQC; 一企業の成功例から講義をしてはどうか。
- ・日本のハイテク; 中小企業に直接関連性のあるハイビジョン・半導体等の講義内容にしてはどうか。
- ・日本の文化; 講義数を増やして複数の講師の意見を聞きたかった
- ・現在日本の若者、意識、価値観に関する講義を聴きたい。

3) 工場見学

- ・中小企業の見学では技術的に見るものがなかった。
- ・大企業見学と専門家との質疑応答を実施してほしい。
- ・一般観光的な見学コースが多かった。見学施設の開拓を望む。

4) 研修旅行

- ・二泊三日、三泊四日程度の期間にして欲しい。
- ・一週間程度の合宿形式にしてはどうか。(日本語集中講義として)

III. 会場・場所

- ・日本語講義の教室が非常に狭かった。
- ・会場移動率が高かった。

IV. その他

- ・ホームビジットをさせて欲しい。
- ・歌舞伎、茶道等日本文化の体験の場が欲しかった。
- ・全体としてのバランスは良かった。

オリエンテーションに関する評価会

2班 CDN 坂本由紀恵
研修員番号 9203430～9203458
29名

I. 期間

- ・3週間位が適當。
- ・各企業での研修前と研修後の2回に分けてオリエンテーションを実施する。

II. 内容

1) 日本語

- ・ハングル版の教材を準備してもらいたい。
- ・視聴覚教材の活用(テープ、ビデオ)希望。
- ・6冊全部の教科書を配布してもらいたい。
- ・日本語を活用する機会が少ない。
- ・韓国語の出来る講師の方がより適切な指導が出来るのではないか
- ・日本語発表は各クラスで全員やった方がいい。
- ・1クラス5、6人にしてもらいたい。

2) 講義

- ・全体の講義内容に常識的なものが多かった。もう少し水準の高い内容の講義を今後はもっと取り入れてもらいたい。

3) 工場見学

- ・工場見学の際の見学時間と質疑応答時間が短かった。
- ・工作機械の展示場等も入れてほしい。(例:アマダ、晴海)
- ・実際の企業人による講義等はより効果的ではないだろうか。
- ・大田区工業団地では実際の作業現場を間近で見れてよかった。

4) 研修旅行

- ・1泊2日では短いので、せめて2泊3日位にしてもらいたい。
- ・日本の歴史や伝統を知るという意味で、出来れば京都、奈良等の関西方面への研修旅行を実施して欲しい。

III. 会場・場所

- ・研修場所は出来れば、研修、食事、娯楽などの面を考慮してTICのような研修施設で実施してもらいたい。

IV. その他

- ・家庭訪問やホームステイなどを通して日本人ともっと接してみたかった。
- ・80人は人数が多いので、もう少し少ない人数でオリエンテーションを実施してもらいたい。
- ・毎日の研修修了後(16:30以降)にも何か研修出来るような企画をしてもらいたい。
(例:日本人ボランティアによる体験的日本語学習等)

オリエンテーションに関する評価会

3班 CDN 李 美美
研修員番号 9203459 ~ 9203482
24名

I. 期間

- ・期間は現在の3週間よりやや長いほうが望ましい（講義の数は適当だが日本語研修の時間数を増やしてほしい。

II. 内容

1) 日本語

- ・研修先で役に立つ挨拶や会話などを中心に教えてほしい。
- ・質疑応答（1対1での会話）の時間が少ない。
- ・視聴覚教材の活用希望。
- ・6冊全部の教科書を配布してほしい。
- ・時間配分を学校式に50分授業10分休憩にしてはどうだろうか
- ・少人数制にしてほしい。
- ・週1回程度のテストを実施したほうがよい。

2) 講義

- ・全般的によかった。
- ・日本の生活や礼節に関する講義があったほうがよかった。

3) 工場見学

- ・各自の研修科目にあった分野別の工場見学が望ましい。
- ・見学時間と質疑応答時間が短かった。
- ・見学の回数を増やして欲しい。

4) 研修旅行

- ・2泊3日位の旅行のほうがよい。
- ・宿泊施設がよくなかった。
- ・日光、京都など、他のコースもよかった。

III. 会場・場所

- ・TICのような研修施設での実施が望ましい。
- ・会場移動率が高かった。

IV. その他

- ・JICAについて、もう少し詳しく説明してほしい。
- ・日本の家庭を訪問してみたい。
- ・プログラムの説明が不十分だった。
- ・韓国の新聞を準備してくれたのは、とてもよかった。
- ・ホテルにミーティングルームがあったほうがよかった。
- ・研修終了時間が4時半では早すぎる。
（特に日本語研修は午前3時間午後4時間ぐらい勉強したい。

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月 1日	題目	JICAブリーフィング
<p>・ 研修員の理解度 <u>80</u> % ・ 集中度 <u>95</u> %</p> <p>・ その理由 JICAの概要説明、また本計画の主旨説明、及び具体的な手続きを行ったが、理解度については、多くの内容があったため、どれ位の研修員が正確に理解出来たのかは疑問である。しかし集中度の方は非常に高く、緊張した雰囲気の中で行われた。</p>			
<p>・ 気付いた点 時間が若干不足気味であった。特に諸手続きのなかでも英文での記入等には非常に時間がかかった。</p>			
<p>・ 改善点 今後はもう少し時間配分を考えるべきであろう。</p>			
<p>・ その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも） 会場はゆうほうとで、五反田の東興ホテルから徒歩5分位のところにあり、距離も適当である。また会場内部も広く、ロビー等も完備しており集団研修の会場として理想的である。</p>			

評価シート

記入者名 李 美美

日付	4年 9月 1日	題目	「滞日生活ガイダンス」 研修監理員 牛尾恵子
<p>・研修員の理解度 <u>95</u> % ・集中度 <u>95</u> %</p> <p>・その理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容がとても充実していた ・講師の韓国語がわかりやすかった ・初日なのでみんな熱心に聞いていた（内容的にも一番生活に密着していた） 			
<p>・気付いた点</p> <p>二時間程で内容を十分に理解させるのは やや無理があると思われる。</p>			
<p>・改善点</p>			
<p>・その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも）</p>			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月 2日	題目	「日本の地理」 立正大学 正井講師
<p>・ 研修員の理解度 <u>80</u> % ・ 集中度 <u>70</u> %</p> <p>・ その理由 全体的には研修員も皆熱心に聴講していた。外部講師による最初の講義であったためか、緊張感もありよかったと思う。ただし後半は、午後の講義であったためか、居眠りをする研修員の姿も見受けられた。スライドの上映等は大変効果的であったと思う。</p>			
<p>・ 気付いた点 講師が外国人への講義に大変慣れた講師であったため、講義内容も大変わかりやすく、研修員も日本の地理についてある程度理解出来たと思われる。</p>			
<p>・ 改善点</p>			
<p>・ その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも） 会場の中央に鏡の柱があったため、スライド上映の時などは、後部座席に座った研修員は非常に見づらかったようである。人数も80名と多いので、その人数に適した会場の選択が望ましい。</p>			

評価シート

記入者名 李 美美

日付	4年 9月10日	題目	「日本の文化」 神田外国語大 成澤 勝
・研修員の理解度 <u>95</u> %		・集中度 <u>95</u> %	
その理由 日韓の文化比較を具体例を挙げながらの講義で非常に解りやすかった。 黒板を多く利用し、また韓国語での講義であったため非常に集中度も高かった。			
・気付いた点 韓国、韓国文化に造詣の深い講師であったため、研修生が日本文化を理解するうえで素直に講義内容が理解できたと考えられる。			
・改善点			
・その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも）			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月10日	題目	「日本の中小企業」 経団連 川本講師
<p>・ 研修員の理解度 <u>85</u> % ・ 集中度 <u>80</u> %</p> <p>・ その理由 日本の中小企業の変遷と現状、また日本経済の中での位置とその特徴について図表等を通して解説して頂いたが、研修員にとっては日本の中小企業を知る上で興味のもてる講義であったと思う。</p>			
<p>・ 気付いた点 資料なども充分で図表を使い具体的な数値で解説して頂いたので大変分かり易かったと思う。</p>			
<p>・ 改善点</p>			
<p>・ その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも）</p>			

評 価 シ ー ト

記入者名 坂本由紀恵

日 付	4 年 9 月 1 1 日	題 目	富士通 沼津工場
<p>・ 研修員の理解度 <u>80</u> % ・ 集中度 <u>75</u> %</p> <p>・ その理由 理解度としては全体的には皆充分に企業概要を理解していたように思う。ただ研修員によって、自分の専門により興味のある人とならない人のばらつきがかなりあり、集中度はあまり高くはなかったと思う。</p>			
<p>・ 気付いた点 企業の関係者の対応は大変親切でよかった。</p>			
<p>・ 改善点 2グループに分かれての見学であったが、時間配分に若干の不公平があったため、午後のグループの場合、質疑応答の時間が短かく研修員の要望に充分に応えることが出来なかったように思える。 今後、工場見学を企画する場合、時間配分に関して充分に配慮する必要がある。</p>			
<p>・ その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも） 研修旅行を兼ねた工場見学であったが、来日後初めての郊外研修でもあり、研修員も終始リラックスした雰囲気の中過ごしていた。その日の夜は河口湖周辺の宿所に滞在したが、お天気にも恵まれ、富士山もよく見え、研修員も大変喜んでいた。翌日は箱根を経由して東京に戻って来たが、箱根では日本の歴史や自然にも触れることが出来、研修員にとってもよい機会となった。</p>			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月16日	題目	「日本のハイテク」 科学技術庁 田中正明
<p>・ 研修員の理解度 <u>65</u> % ・ 集中度 <u>65</u> %</p> <p>・ その理由 日本でのロケット開発の変遷と最新ロケットについての講義であったが、講義内容と研修員の実務内容に関連性が余りなかったため理解度及び集中度はあまり高くはなかった。</p>			
<p>・ 気付いた点 講師は周到的な資料準備と誠意のある講義、丁寧な質疑応答で、大変好感のもてる対応であった。また黒板の使用も多く、複雑な内容ではあったが、それなりに解り易い講義であった。</p>			
<p>・ 改善点 研修員の実務内容に関連性のある講義、或はロケットに関する講義であれば、ロケットの構造上の内容より一般的な内容の方が研修員には解り易かったのではないだろうか。</p>			
<p>・ その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも） 会場中央にガラス（鏡）の柱があり後部座席に座った研修員は黒板などが若干見辛そうであった。</p>			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月16日	題目	「日本のQ C」 日本規格協会 川村講師
・研修員の理解度 <u>80</u> % ・集中度 <u>80</u> %			
・その理由 Q Cの歴史や概要、実践方法に関する講義だった。韓国ではQ Cに関するほとんどの情報が日本から入ってくるため、既にかんりの知識を持っていた研修員も多かった。			
・気付いた点 講義に大変慣れた講師であったため、非常に解り易い講義内容であった。また事例等も数多く挙げて頂き、大変まとまった内容であったと思う。但し、一部の研修員からは内容が常識的過ぎるという指摘もあった。			
・改善点 企業実務者によるQ C活動に関する講義を聴講したかったという声も多く、今後検討してみてもよいのではないだろうか。			
・その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも）			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月17日	題目	本田技研 狭山工場
<p>・研修員の理解度 <u>95</u> % ・集中度 <u>90</u> %</p> <p>・その理由 自動車製造ラインという、内容的にはほとんどの研修員にとって一般的で、しかも身近なものであったため、皆十分に理解出来ていたようである。始めに30分程の概要説明を聞き、その後約1時間の工場見学、そして質疑応答に入ったが、全体を通して研修員の関心も高く、熱心に見学していた。</p>			
<p>・気付いた点 外部からの見学者が非常に多い工場であるためか、対応に若干形式的なところがあったように思われる。また質疑応答の時間が短く研修員の要望に充分に応えることができなかつた点が残念である。</p>			
<p>・改善点 工場見学の際、3グループに分かれて見学コースに入ったが、案内担当者が技術担当者ではなかつたため、研修員からの技術的な面での質問に対応しきれていなかつた。 また今後工場見学を企画する場合には、少なくとも2時間半から3時間位の時間配分が必要である。</p>			
<p>・その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも）</p>			

評価シート

記入者名 坂本由紀恵

日付	4年 9月21日	題目	大田区産業会館 大田区中小企業工業団地
<p>・研修員の理解度 <u>90</u> % ・集中度 <u>80</u> %</p> <p>・その理由 産業会館では大田区内の各中小企業で生産される工作機械や商品等の展示物を見学し、また中小企業の活動状況に関するブリーフィングを受けた。工業団地内では10人位の小グループに別れて、いくつかの工場を見学したが、質問等も積極的で、皆熱心に見学していた。</p>			
<p>・気付いた点 大企業の見学も大切ではあるが、中小企業の見学もそれなりに意義深いと思う。大企業には大企業の長短点があるだろうし、中小企業には中小企業の長短点があるからだ。研修員自身も韓国の中小企業から派遣されており、また研修先も日本国内の中小企業に行く場合が多いので、何かと参考になる部分も多かったらうと思う。</p>			
<p>・改善点 全体で約2時間半の見学であったが、もう少し時間に余裕があれば、もっとよかっただらうと思う。産業会館から工業団地までの移動にも結構時間がかかり、工業団地での見学は大変慌ただしいものとなり残念だった。</p>			
<p>・その他、雑感（宿泊・会議場・食事・何でも） 一部の研修員からは工業団地内の各工場の規模があまりにも小さく（従業員10人前後）、もう少し規模の大きな工場（中企業）を見学したかったという意見も聞かれた。</p>			

「あなたの研修科目についてのアンケート」

研修員番号 _____
 姓名(漢字) _____
 姓名(英語) _____
 受入企業名 _____

1. あなたの今回の研修目的について該当するものに○をつけて下さい。(複数可能)
- a. 自分の専門分野での一層高度な技術習得 60名
 - b. 日本の企業での労働者の勤労姿勢 36名
 - c. 日本に対する理解を深める(文化、伝統、習慣等) 28名
 - d. 日本語の習得 38名
 - e. その他の意見
 - ・品質管理(2名) ・自己開発(5名) ・友人をつくる
 - ・受入れ企業との相互協力関係の増進
2. あなたの具体的な研修希望内容と、その技術についての経験年数を書いてください。
- ・研修員本人の専門分野
 - ・品質管理(7名)
 - ・生産技術(4名)
 - ・食品(2名)製造技術
 - ・金属材料処理(2名)
 - ・金型製造(11名)
 - ・農薬の開発(2名)
 - ・醸酵
 - ・工程管理(2名)
 - ・金屋構造
 - ・設備改善
3. 日本での研修終了後、あなたの業種の中で、それをどう活用するのかが該当するものに○をつけてください。(複数可能)
- a. 帰国後、研修で習得した技術を自社での専門分野に役立て活用する。(技術改善、生産性向上等) 58名
 - b. 日本の企業精神を社内教育に役立たせる。(日本企業の労働者の勤労姿勢、勤勉さ等) 41名
 - c. 研修中に習得した日本語を役立たせる。(社内での日本語教育、日本語で書かれた専門書、資料等研究) 19名
 - d. 問題発生時の問題処理、解決に役立たせる。或は、防止に役立たせる。 31名
 - e. 研修で習得した技術を活用するための設備、環境を改善し、整える。 24名
 - f. その他の意見
 - ・原材料費の節減

勤続年数(合計) _____年
 ・1年(3名) ・2年(11名) ・3年(7名) ・4年(3名)
 ・5年(14名) ・6年(7名) ・7年(6名) ・8年(6名)
 ・9年(7名) ・10年(3名) ・13年(2名) ・16年(1名)

研修希望内容
 ・技術研修(4名) ・品質管理(12名) ・設計技術(9名)
 ・日本語(4名) ・製造技術(8名) ・加工(2名)
 ・勤労精神(7名) ・生産管理(11名) ・生産管理
 ・技術開発(7名) ・品質保証方法(3名) ・人真管理
 ・自動化について(7名) ・有機化合物の合成 ・農業の選抜方法

オリエンテーションセッションプログラムについてのアンケート

番号 _____
氏名(英字) _____

今後の研修をより良くするため、下記のアンケートに、日本語で答えてください。

I. 各講義について、(1)～(3)については1つ選んでその記号を、(4)～(6)については意見を書いてください。

項目	(1) 評価					(2) 講義の内容					(3) 理解度					(6) 講義の中で良かったと思う所	(5) 講義の中で不満な点、その他
	a) 非常に良かった	b) 良かった	c) 普通	d) あまり良くなかった	e) 全然良くなかった	a) わずかすぎる	b) ちょうどいい	c) 多すぎ	d) 少なすぎ	e) やさすぎる	a) 100～81%	b) 80～61%	c) 60～41%	d) 40～21%	e) 20～0%		
講義																	
JICAフリーフィンク	2	47	28	1	0	2	23	35	7	2	16	34	20	6	0		
滞日生活ガイダンス	14	41	26	1	0	4	6	52	11	7	20	43	22	6	0		
日本の地理	5	31	40	3	0	3	14	49	10	3	12	29	28	9	0		
日本の文化	3	38	30	5	1	5	16	47	7	3	13	29	27	8	0		
日本の中小企業	7	32	31	10	0	3	29	35	12	0	10	30	29	14	1		
日本のハイテク	8	22	29	27	1	13	25	36	5	0	8	23	27	19	0		
日本のQC	15	24	30	9	1	3	18	38	18	5	13	28	28	5	2		

(4) 講義の中で良かったと思う所

「JICAブリーフィング」

- ・ JICAの事業計画
- ・ 研修生に対する配慮を感じた。
- ・ 役に立つ内容だった。(2名)

「滞日生活ガイダンス」

- ・ 日本の生活様式について理解できた。(2名)
- ・ 韓国語の出来る講師で、説明が解りやすかった。(2名)
- ・ 講師の韓国語が上手だった。
- ・ 都内案内が役に立った。
- ・ 実用的だった。

「日本の地理」

- ・ スライドがとてもわかりやすかった。(3名)
- ・ 日本の地理について良く理解出来た。(3名)
- ・ 講義内容に誠意が感じられた。

「日本の文化」

- ・ 道徳文化の特性についてわかった。
- ・ 日本の歴史がわかり、良かった。
- ・ 韓国語だったので解りやすく、内容も良かった。(5名)
- ・ 日本と韓国を比較して説明した点が良かった。

「日本の中小企業」

- ・ 労働分配率の評価
- ・ 内容を易しく説明してくれた点が良かった。
- ・ 中小企業の役割
- ・ 韓国の中小企業の問題点を改めて考えるよい機会となった
- ・ 中小企業の技術開発の実態についての説明(2名)

「日本のハイテク」

- ・ 日本のロケット推進計画についての説明
- ・ 日本の宇宙科学に対するたゆまない研究の歴史
- ・ 講義を受けて、始めて日本が人工衛星について研究をしていることを知った。
- ・ 日本のハイテクの現状を知るよい機会となった。

「日本のQC」

- ・ ISO規格の定義と日本の規格承認状況(2名)
- ・ QC活動の必要性
- ・ 後工程での作業者である自分を考えるという点
- ・ QCについて大体理解出来た。

(5) 講義の中で不満な点、その他意見

「JICAブリーフィング」

- ・オリエンテーション期間中の少額交通費の請求は全員同じ金額なので請求なしの自動支給にしてはどうだろう。
- ・JICAの事業内容に関する説明がもう少し必要

「滞日生活ガイダンス」

- ・研修生の望ましい生活態度について助言してもらいたい。
- ・食事の問題についてももう少し詳しく説明してもらいたい。
- ・必要生活会話については十分に教えてもらいたい。
- ・東京近郊の名所案内に関する情報がほしかった。

「日本の地理」

- ・短い時間で日本の地理を知るのには少し無理があった。
- ・東京の地理についても講義してもらいたかった。

「日本の文化」

- ・短い時間で日本の文化を知るのには少し無理があった。
- ・時間が短すぎた。

「日本の中小企業」

- ・内容が難しかった。(詳細な資料が必要)
- ・範囲が広すぎて内容がよく解らなかった。
- ・内容が易しすぎる。
- ・データが古い。
- ・日本の中小企業が今日の技術をもった原動力についての説明が不足した。

「日本のハイテク」

- ・全般的な日本のハイテクの理解にはつながらない。
- ・内容が難しい。(詳細な資料が必要)
- ・韓国の情報を通して既に知っている内容であった。
- ・日本の技術水準を理解するには少し偏狭的な内容
- ・実際に付加価値のある電子部品やそのアイデアの開発についての話を聞きたい。

「日本のQC」

- ・内容があまりにも常識的過ぎた。
- ・具体的実例を話してほしい。
- ・もう少しレベルの高い講義をしてほしい。

Ⅱ. オリエンテーション全般について答えてください。

(1) オリエンテーションの内容について

- a) とても良い 16名
 b) 普通 55名
 c) あまり良く無い 6名
 *c)と答えた場合、その理由
 a) 講義のレベルが高過ぎる 1名
 b) 講義のレベルが低過ぎる 12名
 c) 興味が無い 2名
 d) その他

- ・日本語の活用時間を増やしてほしい (2名)
- ・もう少し詳しい説明が必要
- ・講義場所の移動や開始時間が適当ではなかった

(2) オリエンテーションの期間について

- a) 長過ぎる (日間ぐらいが良い) 4名
 b) 適当 62名
 c) 短過ぎる (日間ぐらいが良い) 15名
 ・ 20日-1名
 ・ 28日-4名
 ・ 30日-2名

(3) 新たに追加した方がよいと思う講義科目があれば書いてください。

- ・ 日本人家庭訪問 (10名)
- ・ 日本史
- ・ 日本語日常会話 (3名)
- ・ 中小企業訪問 (10社ほど)
- ・ 日本人の生活風習
- ・ 企業管理、作業管理、及び品質管理
- ・ 日本人の国民性

(4) 見学について

① 富士通 沼津工場

- a) とても良い 32名
 b) 普通 42名
 c) あまり良く無い 6名

- *c)とした人はその理由を、その他意見があれば書いてください。
- ・ 見学時間が短い
- ・ もっといろいろな工程を見せてもらいたかった
- ・ 説明不足
- ・ 対応が不親切であった

② ホンダ技研 狭山工場

- a) とても良い 19名
 b) 普通 51名
 c) あまり良く無い 9名

- *c)とした人はその理由を、その他意見があれば書いてください。
- ・ 質疑応答の時間が短すぎた (5名)
- ・ 会社の歴史が感じられなかった (4名)
- ・ 社員の対応が技術研修生というより学生相手という感じだった

③ 六田区中小企業団地、産業会館

- a) とても良い 17名
 b) 普通 48名
 c) あまり良く無い 10名

- *c)とした人はその理由を、その他意見があれば書いてください。
- ・ 使用している機械が最新のものではなく、韓国にもあるものだった
- ・ 工業団地の各企業の規模が小さすぎて、見学する意味があまりない
- ・ 分野的に各自の専門分野の見学ができればよかった

④ 東芝科学館

- a) とても良い 31名
 b) 普通 39名
 c) あまり良く無い 2名

- *c)とした人はその理由を、その他意見があれば書いてください。
- ・ 技術水準が高過ぎる

⑤ 都内見学

- a) とても良い 29名 (TDL見学はともよかった)
 b) 普通 46名
 c) あまり良く無い 2名

- *c)とした人はその理由を、その他意見があれば書いてください。
- ・ 時間が短い
- ・ 東京タワーと浅草はよかったが、皇居は公園のようだった

(5) その他要望事項

- ・ 何でも結構です、意見等があれば書いてください。
- ・ 全体の講義資料をあらかじめ贈り、一度に配布した方が整理しやすい
- ・ 工場見学を増やし、見学時間も長くする
- ・ 研修旅行を2泊3日にする (6名)
- ・ 3泊4日 (1名)
- ・ JICAの研修施設を利用する
- ・ 既に知っていることについての講義が多い
- ・ 講義時間の変更希望、9:30-16:30では前後の時間の有効活用が難しい
- ・ 日本語の講義を講義集めて集中的にした方がよい
- ・ より詳しいプログラム説明が必要
- ・ 宿所の部屋が狭くて不便
- ・ 食事のアレンジをしてほしい
- ・ CDNは出来れば日本語で話してほしい
- ・ CDNに感謝

Ⅲ. 日本語研修について答えてください。

(1) 内容について

- | | |
|-----------------|-----|
| a) 良く理解できた | 28名 |
| b) 少し理解できた | 44名 |
| c) ほとんど理解できなかった | 3名 |
| d) 全然理解できなかった | |

(2) 時間について

- | | |
|----------------------|-----|
| a) 長過ぎる (時間ぐらいが良い) | 2名 |
| b) 適当 | 54名 |
| c) 短か過ぎる (時間ぐらいが良い) | 23名 |

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| ・ 50時間 | ・ 7時間×20日 | ・ 1日8時間 |
| ・ 60時間 | ・ 4週間 | |
| ・ 100時間 | ・ 20日 | |

(3) その他要望事項

日本語研修について、意見等が有れば書いてください。

- ・ 材だけでなく、テープの配布も希望
- ・ 視聴覚施設を利用したかった (2名)
- ・ 韓国語判の教科書が必要 (3名)
- ・ 韓国語が少しでもわかる講師が担当すればもっとよかった
- ・ 専門技術用語を習い
- ・ 午後の講義を延長してほしい (1時間程度)
- ・ 少人数制にしてほしい、1クラス5、6人程度 (5名)
- ・ 日本語研修時を増やしてほしい
- ・ 教科書を全冊配布してほしい
- ・ 語学研修中テストをした方がよい
- ・ 講師の方々に感謝

I-3-(8) 企業研修
研修監理報告書

I-3-(8) 7. 第9次韓国技術者研修計画研修日程表

第9次韓国技術者研修計画 研修日程表

受入企業名 日本曹達(株)
 研修施設 李望燮 朴容錫
 研修施設場所 宿泊先

日付	研修項目	研修施設場所	宿泊先
10/27(火)		孫原農研	日曹音田寮
10/28(水)	殺虫剤		
10/29(木)			
10/30(金)	↓		
10/31(土)	休日		
11/1(日)	休日		
11/2(月)			
11/3(火)	祝日(文化の日)		
11/4(水)	殺菌剤		
11/5(木)			
11/6(金)	↓		
11/7(土)	休日		
11/8(日)	休日		
11/9(月)			
11/10(火)	抵抗性種子法		
11/11(水)			
11/12(木)			
11/13(金)	↓		
11/14(土)	移動 六合/東京		東京(休日)
11/15(日)	休日		
11/16(月)	研修旅行 農薬品質管理法	高田工場	高田(休日)
11/17(火)		二本水工場	日曹音田寮
11/18(水)	農薬開発普及法	本社	東京(休日)
11/19(木)			
11/20(金)			
11/21(土)	休日		
11/22(日)	休日		
11/23(月)	祝日(勤労感謝の日)休日		
11/24(火)	3カ月研修員東京へ移動		
11/25(水)	東京にて閉講式、歓送パーティー		
11/26(木)	3カ月研修員帰国		
11/27(金)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
11/28(土)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		

日付	研修項目	研修施設場所	宿泊先
9/24(木)	東京より研修員到着 スリ-ニ-ン法	小田原研究所	小田原(休日)
9/25(金)			
9/26(土)	休日		東京(休日)
9/27(日)	移動 東京/会津若松		会津若松(休日)
9/28(月)	北関東各地作物に対する温室圃	孫原農場	孫原(休日)
9/29(火)	場外力追加検査		
9/30(水)			
10/1(木)	殺菌剤		
10/2(金)	↓		
10/3(土)	休日		
10/4(日)	休日		
10/5(月)			
10/6(火)			
10/7(水)	殺虫剤		
10/8(木)			
10/9(金)	↓		
10/10(土)	祝日(体育の日)休日		
10/11(日)	休日		
10/12(月)			
10/13(火)			
10/14(水)	殺菌剤		
10/15(木)			
10/16(金)	↓		
10/17(土)	移動 磐梯町/東京		東京(休日)
10/18(日)	休日		東京(休日)
10/19(月)	移動 東京/六合	孫原農研	日曹音田寮
10/20(火)	北関東温暖地作物に対する交配		
10/21(水)	検査法		
10/22(木)	殺菌剤		
10/23(金)	↓		
10/24(土)	休日		
10/25(日)	休日		
10/26(月)			

第9次年度國庫技術者研修十箇月 研修日程表

受入企業名 長野味噌株式会社
 研修員名 加藤永基、元重亮

日付	研修項目	研修場所	宿泊先
10/27 (火)	現場研修	本社	本丸常盤館
10/28 (水)	本社	本社	本丸常盤館
10/29 (木)	本社	本社	本丸常盤館
10/30 (金)	本社	本社	本丸常盤館
10/31 (土)	本社	本社	本丸常盤館
11/1 (日)	休業日		
11/2 (月)	現場研修	本社	本丸常盤館
11/3 (火)	本社	本社	本丸常盤館
11/4 (水)	本社	本社	本丸常盤館
11/5 (木)	本社	本社	本丸常盤館
11/6 (金)	本社	本社	本丸常盤館
11/7 (土)	本社	本社	本丸常盤館
11/8 (日)	休業日		
11/9 (月)	本社	本社	本丸常盤館
11/10 (火)	本社	本社	本丸常盤館
11/11 (水)	本社	本社	本丸常盤館
11/12 (木)	本社	本社	本丸常盤館
11/13 (金)	本社	本社	本丸常盤館
11/14 (土)	本社	本社	本丸常盤館
11/15 (日)	休業日		
11/16 (月)	本社	本社	本丸常盤館
11/17 (火)	本社	本社	本丸常盤館
11/18 (水)	本社	本社	本丸常盤館
11/19 (木)	本社	本社	本丸常盤館
11/20 (金)	本社	本社	本丸常盤館
11/21 (土)	本社	本社	本丸常盤館
11/22 (日)	休業日		
11/23 (月)	本社	本社	本丸常盤館
11/24 (火)	本社	本社	本丸常盤館
11/25 (水)	本社	本社	本丸常盤館
11/26 (木)	本社	本社	本丸常盤館
11/27 (金)	本社	本社	本丸常盤館
11/28 (土)	本社	本社	本丸常盤館

日付	研修項目	研修場所	宿泊先
9/24 (木)	東京より研修員到着	本社	本丸常盤館
9/25 (金)	本社	本社	本丸常盤館
9/26 (土)	本社	本社	本丸常盤館
9/27 (日)	休業日		
9/28 (月)	本社	本社	本丸常盤館
9/29 (火)	本社	本社	本丸常盤館
9/30 (水)	本社	本社	本丸常盤館
10/1 (木)	本社	本社	本丸常盤館
10/2 (金)	本社	本社	本丸常盤館
10/3 (土)	本社	本社	本丸常盤館
10/4 (日)	休業日		
10/5 (月)	本社	本社	本丸常盤館
10/6 (火)	本社	本社	本丸常盤館
10/7 (水)	本社	本社	本丸常盤館
10/8 (木)	本社	本社	本丸常盤館
10/9 (金)	本社	本社	本丸常盤館
10/10 (土)	本社	本社	本丸常盤館
10/11 (日)	休業日		
10/12 (月)	本社	本社	本丸常盤館
10/13 (火)	本社	本社	本丸常盤館
10/14 (水)	本社	本社	本丸常盤館
10/15 (木)	本社	本社	本丸常盤館
10/16 (金)	本社	本社	本丸常盤館
10/17 (土)	本社	本社	本丸常盤館
10/18 (日)	休業日		
10/19 (月)	本社	本社	本丸常盤館
10/20 (火)	本社	本社	本丸常盤館
10/21 (水)	本社	本社	本丸常盤館
10/22 (木)	本社	本社	本丸常盤館
10/23 (金)	本社	本社	本丸常盤館
10/24 (土)	休業日		
10/25 (日)	休業日		
10/26 (月)	本社	本社	本丸常盤館

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
9/24 (木)	東京より研修員到着		本宿
9/25 (金)	昭和製紙		"
9/26 (土)	会社休日		"
9/27 (日)	会社休日		"
9/28 (月)	社内説明 研修内容説明	社内	
9/29 (火)	1) 会社図説 印刷作業法	工場	
9/30 (水)	印刷機及び乾燥機等の目的		
10/1 (木)	印刷機		
10/2 (金)	印刷機 印刷機等の目的及び方法	"	
10/3 (土)	会社休日		
10/4 (日)	会社休日		
10/5 (月)	印刷機 印刷機等の目的及び方法	"	
10/6 (火)	"		
10/7 (水)	印刷機 印刷機等の目的及び方法	"	
10/8 (木)	"		
10/9 (金)	印刷機 印刷機等の目的及び方法	"	
10/10 (土)	印刷機 印刷機等の目的及び方法	東京市内	
10/11 (日)	休日		
10/12 (月)	2) 環境への作業法	工場	
10/13 (火)	環境への作業法	"	
10/14 (水)	橋本製紙 印刷株式会社	見学	
10/15 (木)	環境への作業法	工場	
10/16 (金)	環境への作業法	"	
10/17 (土)	会社休日		
10/18 (日)	会社休日		
10/19 (月)	両社 印刷機 印刷機	見学	
10/20 (火)	3) 印刷機 印刷機	工場	
10/21 (水)	印刷機	"	
10/22 (木)	印刷機	"	
10/23 (金)	印刷機	"	
10/24 (土)	休日		
10/25 (日)	休日		
10/26 (月)	印刷機 印刷機	見学	

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
10/27 (火)	4) 安全衛生 印刷機等の目的	工場	宿舎先
10/28 (水)	印刷機	"	
10/29 (木)	印刷機 印刷機等の目的	"	
10/30 (金)	印刷機 印刷機等の目的	"	
10/31 (土)	休日		
11/1 (日)	印刷機 印刷機等の目的	見学	東山閣
11/2 (月)	印刷機	"	
11/3 (火)	印刷機 (文化の日)		
11/4 (水)	印刷機 印刷機等の目的	工場	
11/5 (木)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/6 (金)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/7 (土)	会社休日		
11/8 (日)	会社休日		
11/9 (月)	5) 印刷機 印刷機等の目的	工場	
11/10 (火)	印刷機	"	
11/11 (水)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/12 (木)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/13 (金)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/14 (土)	印刷機 印刷機等の目的	見学	印刷
11/15 (日)	"	"	"
11/16 (月)	"	"	"
11/17 (火)	印刷機 印刷機等の目的	工場	
11/18 (水)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/19 (木)	印刷機 印刷機等の目的	"	
11/20 (金)	印刷機		
11/21 (土)	印刷機		
11/22 (日)	印刷機		
11/23 (月)	印刷機 (印刷機等の日)		
11/24 (火)	印刷機 印刷機等の目的		
11/25 (水)	印刷機 印刷機等の目的	印刷機 印刷機等の目的	
11/26 (木)	印刷機 印刷機等の目的	印刷機 印刷機等の目的	
11/27 (金)	印刷機 印刷機等の目的	印刷機 印刷機等の目的	
11/28 (土)	印刷機 印刷機等の目的	印刷機 印刷機等の目的	

※ 毎週月曜日意見交換

研修日程表

受入企業名 (株)富士エレクトロニクス
 研修担当者 申 柄 俊 SHIN BYOUNG JUN

日付	研 修 項 目	研修実施場所	宿泊先
10/27 (火)	D/L 作製の意義	設計室	
10/28 (水)	設計に必要の資料と口		
10/29 (木)	設計任務の決定		
10/30 (金)	生産教育、被加工材と型材管について		
10/31 (土)			
11/1 (日)			
11/2 (月)	D/L 作成準備、作図方法について		
11/3 (火)	休日 (文化の日)		
11/4 (水)	工程習得の考え		
11/5 (木)	工程別加工圧力設定		
11/6 (金)			
11/7 (土)			
11/8 (日)			
11/9 (月)			
11/10 (火)			
11/11 (水)	D/L 作成実習 (3~4部品程度)		
11/12 (木)	D/L 作成実習後は研修者から、自社より		
11/13 (金)	製品回面を指導するようについて		
11/14 (土)	お疲れ様。		
11/15 (日)			
11/16 (月)			
11/17 (火)			
11/18 (水)			
11/19 (木)			
11/20 (金)			
11/21 (土)			
11/22 (日)			
11/23 (月)	休日 (勤労感謝の日)		
11/24 (火)			
11/25 (水)			
11/26 (木)			
11/27 (金)			
11/28 (土)			

日付	研 修 項 目	研修実施場所	宿泊先
9/24 (木)	東京より研修員到着		富士研修センター
9/25 (金)	オリエンテーション		
9/26 (土)	金型製作工程について		
9/27 (日)			
9/28 (月)	機械、取組実習	機械工場	
9/29 (火)	N/C 加工の使いか、使いか方の見学		
9/30 (水)	加工方法、手順の理解		
10/1 (木)	工具の種類		
10/2 (金)			
10/3 (土)			
10/4 (日)			
10/5 (月)	仕上実習	仕上工場	
10/6 (火)			
10/7 (水)			
10/8 (木)			
10/9 (金)	休日 (体育の日)		
10/10 (土)			
10/11 (日)			
10/12 (月)	トライアウト実習、製品検査実習	トライ、検査	
10/13 (火)			
10/14 (水)			
10/15 (木)			
10/16 (金)			
10/17 (土)			
10/18 (日)			
10/19 (月)	モデル製作、C/F 製作実習	モデル工場	
10/20 (火)			
10/21 (水)			
10/22 (木)			
10/23 (金)			
10/24 (土)			
10/25 (日)			
10/26 (月)			

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
1/1 (金)	祝日 (元旦)		
1/2 (土)			
1/3 (日)			
1/4 (月)			
1/5 (火)			
1/6 (水)			
1/7 (木)	型図作成実習	設計室	
1/8 (金)	7時間: リストアップ型		
1/9 (土)			
1/10 (日)			
1/11 (月)			
1/12 (火)			
1/13 (水)			
1/14 (木)			
1/15 (金)	祝日 (成人の日)		
1/16 (土)			
1/17 (日)			
1/18 (月)			
1/19 (火)	型図作成実習		
1/20 (水)	カム型		
1/21 (木)			
1/22 (金)			
1/23 (土)			
1/24 (日)			
1/25 (月)			
1/26 (火)			
1/27 (水)			
1/28 (木)			
1/29 (金)			
1/30 (土)			
1/31 (日)			
2/1 (月)	↑ 7/5 アスの種類		
2/2 (火)	7/5 プレス用金型設計に必要知識		

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
11/29 (日)			
11/30 (月)			
12/1 (火)	9プログラム型自動化について 投入取込方法	設計室	
12/2 (水)	型内自動化		
12/3 (木)	7プログラム型型図作成実習		
12/4 (金)	10一型 型作成実習と設計法		
12/5 (土)	部品を至工程設計する		
12/6 (日)			
12/7 (月)			
12/8 (火)			
12/9 (水)			
12/10 (木)			
12/11 (金)			
12/12 (土)			
12/13 (日)			
12/14 (月)			
12/15 (火)			
12/16 (水)	型図作成実習		
12/17 (木)	トルビダ型		
12/18 (金)			
12/19 (土)			
12/20 (日)			
12/21 (月)			
12/22 (火)			
12/23 (水)	祝日 (天皇誕生日)		
12/24 (木)			
12/25 (金)			
12/26 (土)			
12/27 (日)			
12/28 (月)			
12/29 (火)			
12/30 (水)			
12/31 (木)			

日付	研修項目	研修場所	宿泊先
2/3 (水)	T/F Flow chart作成について	設計室	
2/4 (木)	作成実習		
2/5 (金)			
2/6 (土)			
2/7 (日)			
2/8 (月)	T/F カスタム型設計実習		
2/9 (火)			
2/10 (水)			
2/11 (木)	休日 (建国記念の日)		
2/12 (金)			
2/13 (土)			
2/14 (日)			
2/15 (月)			
2/16 (火)			
2/17 (水)			
2/18 (木)			
2/19 (金)	PROGRESSIVE型について		
2/20 (土)	ストライクポイント設定について		
2/21 (日)	実習		
2/22 (月)			
2/23 (火)			
2/24 (水)	東京へ移動		
2/25 (木)	東京にて閉講式、歓送パーティー		
2/26 (金)	研修風情園		
2/27 (土)			
2/28 (日)			

※ 型図作成実習中に、FMC本型製作についてとして、
FMC思作メカ、鋳造工場見学等を実施予定。

第9回 2023年度技術者研修計画 研修日程表

受入企業名 丸井工業株式会社
研修員名 徳島 徳島 徳島

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
9/24 (木)	東京より研修員到着	丸井工業株式会社 徳島工場	
9/25 (金)	自由時間 研修員作業		
9/26 (土)			
9/27 (日)			
9/28 (月)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
9/29 (火)			
9/30 (水)			
10/1 (木)			
10/2 (金)			
10/3 (土)			
10/4 (日)			
10/5 (月)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
10/6 (火)			
10/7 (水)			
10/8 (木)			
10/9 (金)			
10/10 (土)	休日 (休みの日)		
10/11 (日)			
10/12 (月)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
10/13 (火)			
10/14 (水)			
10/15 (木)			
10/16 (金)			
10/17 (土)			
10/18 (日)			
10/19 (月)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
10/20 (火)			
10/21 (水)			
10/22 (木)			
10/23 (金)			
10/24 (土)			
10/25 (日)			
10/26 (月)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	

T-884 P.002/002 F-709

受入企業名 丸井工業株式会社
研修員名 徳島 徳島 徳島

92-09-17 11:29 宛先-0333465018

日付	研修項目	研修実施場所	宿泊先
10/27 (火)	自由時間 研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
10/28 (水)			
10/29 (木)			
10/30 (金)			
10/31 (土)			
11/1 (日)			
11/2 (月)	研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
11/3 (火)	休日 (文化の日)		
11/4 (水)			
11/5 (木)			
11/6 (金)			
11/7 (土)			
11/8 (日)			
11/9 (月)	研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
11/10 (火)			
11/11 (水)			
11/12 (木)			
11/13 (金)			
11/14 (土)			
11/15 (日)			
11/16 (月)	研修員作業	丸井工業株式会社 徳島工場	
11/17 (火)			
11/18 (水)			
11/19 (木)			
11/20 (金)			
11/21 (土)			
11/22 (日)			
11/23 (月)	休日 (勤労感謝の日)		
11/24 (火)	3か月研修員東京へ移動		
11/25 (水)	東京にて閉講式、歓迎パーティー		
11/26 (木)	3か月研修員帰国		
11/27 (金)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
11/28 (土)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		

I-3-(8) 1. JICA 宛研修員通勤費申請書

別添3

JICA 宛 研修員通勤費申請書

《第9次韓国技術者研修計画》

受入企業名 韓国通信

研修先担当者 岩本 邦 彦

研修員氏名 申容 淳 (他名)

期 間		出 発 地	経 由 地	到着地 (研修先)	移動手段	金 額
開 始	終 了					
9月25日	10月24日	矢野口	向河原	平 間	JR 南武線	8,650 円
10月25日	11月24日	〃	〃	〃	〃	8,650 円
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
合計金額:						17,300 円

- ※ この申請用紙は、研修員が毎日宿泊先から研修先へ移動するのに要する費用を申請するためのものであり、研修旅行のための交通費は研修旅行のための交通費は本実施要領別添2の『JICA宛研修旅行計画書』にてご請求下さるようお願い致します。
- ※ 本申請書が受理後、約2週間程度で研修員の銀行口座へ入金されます。
- ※ タクシーによる通勤は禁止となっております。やむを得ずタクシーを利用する必要がある場合は、JICAまでご相談下さい。

JICA 研修員通勤費申請書

《第9次中国技術者研修計画》

広島県安芸郡海田町前木町2番38号
 受入企業名 株式会社 大盛鉄工所
 研修先担当者 笠行 義之

研修員氏名 盧鍾依 Ho Jong-Woo (他5名)

期	間		出	発	地	経	由	地	到着地 (研修先)	移動手段	金	額
	開始	終了										
9月	25日	11月	24日						東京 羽田 高尾 町下 熊木	バス	19,200	
月	日	月	日								19,200 × 40人 = 19,200	
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
月	日	月	日									
合計金額: 19,200円 × 6人 = 115,200 円												

- ※ この申請用紙は、研修員が毎日宿泊先から研修先へ移動するのに要する費用を申請するためのものであり、研修旅行のための交通費は研修旅行のための交通費は本実施要領別添2の『JICA 宛研修旅行計画書』にてご請求下さるようお願い致します。
- ※ 本申請書が接到来後、約2週間程度で研修員の銀行口座へ入金されます。
- ※ ククシーによる通勤は禁止となっております。やむを得ずククシーを利用する必要がある場合は、JICAまでご相談下さい。

J I C A 宛 研修員 通勤費用請求書

《第9次韓国技術者研修計画》

受入企業名 ブラザー工業株式会社
 研修先担当名 星 真

研修員氏名 崔 明植 (他 名)

期 間		出 発 地	経 由 地	到着地(研修先)	移動手段	金 額
開 始	終 了					
9月24日	2月14日	東京 羽田	金山	堀 田	地下鉄	1210 × 2 × 104日
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
月 日	月 日					
合計金額:						43,680 円

- ※ この申請用紙は、研修員が毎日宿泊先から研修先へ移動するのに要する費用を申請するためのものであり、研修旅行のための交通費は研修旅行のための交通費は本実施要領別添2の『JICA宛研修旅行計画書』にてご請求下さるようお願い致します。
- ※ 本申請書が受理後、約2週間程度で研修員の銀行口座へ入金されます。
- ※ タクシーによる通勤は禁止となっております。やむを得ずタクシーを利用する必要がある場合は、JICAまでご相談下さい。

J I C A 宛 研修費 通勤交通費 申請書

《第9次韓国技術者研修計画》

受入企業名 東洋圧造 株式会社
 研修先担当名 木島 松巳
 研修員氏名 金 真 植 (他0名)


期	間		出 発 地	経 由 地	到着地 (研修先)	移 動 手 段	金 額
	開 始	終 了					
9月24日	11月23日		前橋駅前 (ビネコビル前)	前橋中央駅	群馬マロン前 (東洋圧造前)	群馬バス	¥26,040 (1ヶ月定期前額29) (2310×2×42日)
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
合計金額:							26,040 円

- ※ この申請用紙は、研修員が毎日宿泊先から研修先へ移動するのに要する費用を申請するためのものであり、研修旅行のための交通費は研修旅行のための交通費は本実施要領別添2の『JICA宛研修旅行計画書』にてご請求下さるようお願い致します。
- ※ 本申請書が受理後、約2週間程度で研修員の銀行口座へ入金されます。
- ※ タクシーによる通勤は禁止となっております。やむを得ずタクシーを利用する必要がある場合は、JICAまでご相談下さい。

JICA 研修員通勤費申請書

旧社名：日本エアーブレーキ(株)

《第9次韓国技術研修者研修計画》

受入企業名 株式会社 久慈小堰 
 研修先担当名

研修員氏名 朴 權 熙 (他/名)

期	間		出 発 地	経 由 地	到着地(研修先)	移 動 手 段	金 額
	開 始	終 了					
9月24日	9月23日		JRW 釜水驛		JRW 魚住驛	鉄道	9270円 × 2人 = 37080
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
月 日	月 日						
合計金額:							37080 円

- ※ この申請用紙は、研修員が毎日宿泊先から研修先へ移動するのに要する費用を申請するためのものであり、研修旅行のための交通費は研修旅行のための交通費は本実施要領別添2の『JICA宛研修旅行計画書』にてご請求下さるようお願い致します。
- ※ 本申請書が受理後、約2週間程度で研修員の銀行口座へ入金されます。
- ※ タクシーによる通勤は禁止となっております。やむを得ずタクシーを利用する必要がある場合は、JICAまでご相談下さい。

1-3-(8)ウ. JICA 宛研修旅行計画

JICA 宛研修旅行計画書
 《第9次韓国技術者研修計画》 1/1

現在	研修機関名	長野味噌株式会社	
	所在地	〒386 長野県上田市天神三丁目9番29号	☎ 電話0268(24)7771(代)
	最寄り駅名	JR 信越線 上田 駅	
	担当者	氏名 柴田 謙 (所属 管理課 本部長)	☎ 電話0268(24)7771(代)
研修旅行期間	平成4年10月13日 ~ 平成4年10月16日 (泊 4日)		
研修旅行先1	訪問先名	高瀬味噌株式会社	
	所在地	〒677 兵庫県西脇市西脇 483	☎ 0795(22)2243
	訪問先までの移動行程	(上田) 駅名等 [JR] 移動手段 (篠ノ井) 駅名等 [JR] 移動手段 (名古屋) 駅名等 [JR] 移動手段 (新大阪) 駅名等 [JR] 移動手段 (新大阪) 駅名等 [JR] 移動手段 (加古川) 駅名等 [JR] 移動手段 (西脇) 駅名等 [] 移動手段 () 駅名等	
	最寄り駅名	JR 加古川線 西脇 駅	
	宿泊先	宿舎名 ビジネスホテル (一泊 5,500円)	☎ 0795(23)3535
	宿泊期間	平成4年10月13日 ~ 平成 年 月 日 (/ 泊 日)	
研修旅行先2 ※旅行先が2つある場合	訪問先名	株式会社 樋口松之助商店	
	所在地	〒545 大阪府大阪市阿部野区播磨町1-14	☎ 06(621)8781
	訪問先までの移動行程	(西脇) 駅名等 [JR] 移動手段 (加古川) 駅名等 [JR] 移動手段 (大阪) 駅名等 [地下鉄] 移動手段 (西田辺) 駅名等 (西田辺) 駅名等 [地下鉄] 移動手段 (新大阪) 駅名等 [] 移動手段 () 駅名等 [] 移動手段 () 駅名等	
	最寄り駅名	地下鉄 御道筋線 西田辺 駅	
	宿泊先	宿舎名 西武ホテル (一泊 5,000円)	☎ 06(305)0222
宿泊期間	平成4年10月14日 ~ 平成 年 月 日 (/ 泊 日)		
備考	技術研修員：柳永基，元章喜 の2名		

JICA 宛研修旅行計画書
 《第9次韓国技術者研修計画》 292

現在	研修機関名	長野味噌株式会社		
	所在地	〒386 長野県上田市天神三丁目9番29号	☎	電話0268(24)7771(代)
	最寄り駅名	線		駅
	担当者	氏 柴田 謙 (所属 管理課本部長)	☎	電話0268(24)7771(代)
研修旅行期間		平成 4 年 10 月 13 日 ~ 平成 4 年 10 月 16 日 (泊 4 日)		
研修旅行先1	訪問先名	株式会社 本田味噌本店		
	所在地	〒602 京都市京都市上京区室町通一条558 ☎ 075(441)1121		
	訪問先までの移動行程	(新大阪) 駅名等 [JR] 移動手段 (京都) 駅名等 [地下鉄] 移動手段 (鳥羽今出川) 駅名等 [移動手段] 移動手段 (上田) 駅名等 (鳥羽今出川) 駅名等 [地下鉄] 移動手段 (京都) 駅名等 [JR] 移動手段 (高尾藤井) 駅名等 [JR] 移動手段 (上田) 駅名等		
	最寄り駅名	JR 東海道線		京都 駅
	宿泊先	宿舎名 ハルスサイドホテル (一泊 2,000円)	☎	075(431)8171
	宿泊期間	平成 4 年 10 月 15 日 ~ 平成 年 月 日 (/ 泊 日)		
研修旅行先2 ※旅行先が2つある場合	訪問先名			
	所在地	〒	☎	()
	訪問先までの移動行程	(駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段 (駅名等) [移動手段] 移動手段		
	最寄り駅名	線		駅
	宿泊先	宿舎名 (一泊 円)	☎	()
	宿泊期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (泊 日)		
備考				

別添2

I-3-(8) Ⅰ. 韓国技術者研修計画研修旅行 / 移動申請書

韓国技術者研修計画研修旅行 / 移動申請書

別紙Ⅶ

平成 4 年 9 月 17 日

国際協力事業部研修第 2 課 御中

研修先 長野味噌株式会社



担当 菅原 部長 柴田 課長

研修旅行 / 移動目的 : 社外研修 : ① 兵庫 / 高瀬味噌(株), ② 大阪 / 味噌通口松之山商店, ③ 京都 / (株) 本田味噌本店

以上 3ヶ所 の研修のための移動。

研修員名 : ① 柳 永基 ② 元 章喜 ③

研修旅行日程 : 平成 7 年 10 月 13 日 ~ 平成 7 年 10 月 16 日

月日	出発地(駅名)	経由地	到着地(駅名)	見学先名称及び住所
10月13日	上田馬込	静岡、名古屋、大阪	西船場	高瀬味噌(株) 兵庫県西船場市船場 4-8-3.
10月14日	西船場	大阪	新大阪	(株) 通口松之山商店 大阪府阿倍野区筒原町 1-14-2
10月15日	新大阪		京都	(株) 本田味噌本店 京都市京都市室町一茶 5-5-8
10月16日	京都	徳島、神戸	上田	同上

宿舎名	宿泊料金/日	期	間	宿泊料金	住 所
ビジネスホテル	5,500 円	10/13 ~ 10/14	(1泊)	@ 5,500 × / 日 = 5,500 円	〒677 兵庫県西船場市船場 4-11-1 880-5 ☎ 0795-23-3535
通式ホテル	5,000 円	10/14 ~ 10/15	(1泊)	@ 5,000 × / 日 = 5,000 円	〒532 大阪府淀川区西中島 5-10-1 ☎ 06-305-0222
パレスホテル	7,000 円	10/15 ~ 10/16	(1泊)	@ 7,000 × / 日 = 7,000 円	〒602 京都市上京区皇御通河原町 5 ☎ 075-431-8171
合計		合計 (3泊)		小計 12,500 円	合計 (A × 2 人) 35,000 円

(注意事項) : 本計画書は、JICAが研修員に支給する交通費及び、公団が支給する宿泊費算出のためのものです。

I-3-(8) 韓国中小企業公団宛宿泊費支出請求書

別添
平成 4 年 10 月 11 日

韓国中小企業振興公団宛宿泊費支出請求書

韓国中小企業振興公団 御 中
日本 事務所

第9次韓国技術研修計画研修員 (2) 名に係る宿泊費の支払いを下記のとおり請求します。

長野味噌株式会社
代表取締役 柴田 謙一

研修先
担当 菅

研修員氏名 柳 永基 (他 / 名)

請求金額 57,598 円 3% 税込
明細 消費税 3% 0 円

宿 會 名	宿泊料金/日	宿 泊 期 間	宿 泊 料 金	住 所
ビジネスホテル セキリス	5,500 円	10/13 ~ / (/ 油)	5500 × / 日 = 5,500 円	〒西脇市 荻川町 250795-23-3525
西武メロパズホテル	4,840 円	10/14 ~ / (/ 油)	4840 × / 日 = 4,840 円	〒文京区 湯島 中根 5 丁目 10-1 2506-305-0222
パルスアイトホテル	8,308 円	10/15 ~ / (/ 油)	8308 × / 日 = 8,308 円	〒京都市 上京区 烏丸 通 下 瓦 町 上 丸 25075-421-8171
		/ ~ / (/ 油)	0 × 日 = 円	否
		/ ~ / (/ 油)	0 × 日 = 円	否
		合 計 (/ 油)	小 計 18,648 円	合計 (A × 2) 人 57,598 円

銀行名: 三井銀行 支店 上田 支店
口座番号: (普通) 26-122 名義人: ナカノ ミチヲ キカイ イヤ
長野味噌株式会社

※1. 宿泊本料金は差泊まり料金です。食出込みの場合は、食出代は研修員各自に支払わせてください (滞在中の食費は、一括して研修員の口座へ支給済です)。
※2. 研修旅行中の宿泊費については、別途研修旅行申請書を JICA 宛に送付下さい。JICA より公団に回付し、公団から研修員の口座へ直接振り込みます。

I-3-(8)カ. 研修旅行報告書

研修旅行報告書

別紙X

平成4年10月20日

国際協力事業団
研修事業部研修第2課 御中



研修先担当者
氏名 岡 政 毅

1. 同行者所属・氏名 長野味噌株式会社 開発課長

米 賀 啓 治

2. 期 間 平成4年10月13日から10月16日まで (4日間)

3. 研修旅行先 ①兵庫/高瀬味噌(株)：甘口米白しそ. 製造販売
②大阪/(株)樋口松之助商店：禰麹製造販売
③京都/(株)本田味噌本店：西京白しそ増造販売

4. 研修目的 ①③ 信州味噌以外の米味噌の製造工程
② 禰麹(麹)の製造工程の研究

5. 報告事項 (研修内容、成果等)

- ① 高瀬味噌(株)：研修内容：甘口米白しその製造工程の研究。
成果：信州以外の米(淡色辛口しそ)と異なり仕込工程(整仕込)製品調整工程(おき取り)等が、当社工程と比較すると充分な研修成果を上げた。
- ② (株)樋口松之助商店：禰麹の製造工程全般の研究。
成果：米、大豆、麦と原料とした場合の禰麹の違い等、各種麹菌の製造工程について研修した。
- ③ (株)本田味噌本店：甘口米白しそ(西京白しそ)の製造工程の研究。
成果：高瀬味噌(株)と同種小粒の製造工場である工場の違いにより製造工程が異なり、製品味噌の品質にも微妙な影響を与えている点について研修された。

- 6. 研修旅行先担当者氏名、役職 ①高瀬味噌(株)専務 高瀬 幸一郎 殿
②(株)樋口松之助商店 取締役社長 樋口松之助 殿、技術部長 奈良原 良二 殿
③(株)本田味噌本店 代表取締役社長 本田茂殿、代表取締役 藤本 和昭 殿

※報告事項は箇条書きで願います。
※研修旅行終了後1週間以内に、JICA担当者まで送付願います。

I-3-(8)キ. JICA 宛研修旅行計画書

JICA 宛研修旅行計画書
 《第9次韓国技術者研修計画》

現在	研修機関名	東名化成株式会社		
	所在地	〒4470-01 愛知県愛知郡日進町大字米野木字細口106 ☎ 05617 (3) 1212		
	最寄り駅名	名鉄 豊田 線 米野木 駅		
	担当者	氏名 徳山忠臣 (所属 総務部) ☎ 05617 (3) 1212		
研修旅行期間	平成 〃 年 〃 月 〃 日 ~ 平成 〃 年 〃 月 〃 日 (〃 泊 〃 日)			
研修旅行先1	訪問先名	東名化成株式会社 群馬工場		
	所在地	〒370-01 群馬県佐波郡境町大字東新井1048-1 ☎ 0270 (76) 1818		
	訪問先までの移動行程	(米野木) → (名古屋) → (東京) → (本庄) 駅名等 [名鉄地下鉄] 駅名等 [新幹線] 駅名等 [JR高崎線] 駅名等 移動手段 移動手段 移動手段 () → () → () → () 駅名等 [] 駅名等 [] 駅名等 [] 駅名等 移動手段 移動手段 移動手段		
	最寄り駅名	JR 高崎 線 本庄 駅		
	宿泊先	宿舎名 ホテル新田プラザ (一泊 5665 円) ☎ 0276 (57) 1211		
	宿泊期間	平成 〃 年 〃 月 〃 日 ~ 平成 〃 年 〃 月 〃 日 (〃 泊 〃 日)		
研修旅行先2 ※旅行先が2つある場合	訪問先名			
	所在地	〒 ☎ ()		
	訪問先までの移動行程	() → () → () → () 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 () → () → () → () 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等		
	最寄り駅名	線 駅		
	宿泊先	宿舎名 (一泊 円) ☎ ()		
宿泊期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (泊 日)			
備考				

別添2

1/28 参観 1/2 ~ 1/4 → 1/3, 4

JICA 宛研修旅行計画書
 《第9次韓国技術者研修計画》


現在	研修機関名	東名化成株式会社		
	所在地	〒4470-01 愛知県愛知郡日進町大字米野木字細口1の6 ☎ 05617 (3) 1212		
	最寄り駅名	名鉄 豊田	線	米野木 駅
	担当者	氏名 徳山忠臣 (所属 総務部) ☎ 05617 (3) 1212		
研修旅行期間	平成 〆 年 〆 月 〆 日 ~ 平成 〆 年 〆 月 〆 日 (〆 泊 〆 日)			
研修旅行先1	訪問先名	東名化成株式会社 群馬工場		
	所在地	〒370-01 群馬県佐波郡境町大字東新井1048-1 ☎ 0270 (76) 1818		
	訪問先までの移動行程	(米野木) → (名古屋) → (東京) → (本庄) 駅名等 [名鉄地下鉄] 移動手段 駅名等 [新幹線] 移動手段 駅名等 [JR高崎線] 移動手段 駅名等 () → () → () → () 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等		
	最寄り駅名	JR 高崎	線	本庄 駅
	宿泊先	宿舍名 ホテル新田アザ (一泊 5665 円) ☎ 0276 (57) 1211		
宿泊期間	平成 〆 年 〆 月 〆 日 ~ 平成 〆 年 〆 月 〆 日 (〆 泊 〆 日)			
研修旅行先2 ※旅行先が2つある場合	訪問先名			
	所在地	〒 ☎ ()		
	訪問先までの移動行程	() → () → () → () 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 () → () → () → () 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等 [] 移動手段 駅名等		
	最寄り駅名	線 駅		
	宿泊先	宿舍名 (一泊 円) ☎ ()		
宿泊期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (泊 日)			
	備考			

別添2

研修旅行報告書

平成 4 年 11 月 5 日

国際協力事業団
研修事業部研修第2課 御中

研修先担当者
氏名 徳山忠臣 

1. 同行者所属・氏名 南苑部長 木村 卓

2. 期 間 平成 4 年 11 月 3 日から 11 月 4 日まで之日間

3. 研修旅行先
東名化成(株) 群馬工場
人キコ (株) 川崎工場

4. 研修目的
1) HOT HOLD 最新機械設備見学
2) 電動式スプロケット実習

5. 報告事項 (研修内容、成果等)

- 1) 自動注入システムの見学
ロボット 及び 調液 資料提供 システムの存在
等之亦、如 実際 につき 実習(理解)
- 2) 自動型湯コントロールシステムの見学
型湯コントロールシステムにて 湯部水量と水温との
制御合(化) 実習
- 3) 自動 炒飯 加温方法、在工方法(システム) 見学
- 4) 電動式スプロケットのメカニズム、ロボット 実習

6. 研修旅行先担当者氏名、役職 工場長 佐藤
(人キコ 設計部長 岡地 部長、加藤 氏 氏)

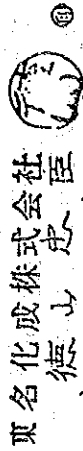
※報告事項は簡条書きで願います。
※研修旅行終了後1週間以内に、JICA担当者まで送付願います。

平成 年 月 日

韓国中小企業振興公社 宿泊費支払請求書

韓国中小企業振興公社 御中
日本 事務 所

第9次韓国技術者研修計画研修員 (/) 名に係る宿泊費の支払いを下記のとおり請求します。



東名化成株式会社
徳山忠臣

研修先
担当者

研修員氏名 李 錫 濟 (他 名)

請求金額 6,180 円

明細

宿 會 名	宿泊料金/日	宿 泊 期 間	宿 泊 料 金	住 所
ホテルラザニック	6,180 円	11/3 ~ / (/ 油)	6,180 円 × 1 日 = 6,180 円	〒 0226-57-1211 岩手県南西郡新田町寺赤野井 2079-1
	円	/ ~ / (油)	円 × 日 = 円	否
	円	/ ~ / (油)	円 × 日 = 円	否
	円	/ ~ / (油)	円 × 日 = 円	否
	円	/ ~ / (油)	円 × 日 = 円	否
		合 計 (/ 油)	小 計 6,180 円	合計 (人 × / 人) 6,180 円

銀行名: アサヒ 震旦 銀行 支店 アサヒ 震旦 銀行 支店
 口座番号: (普通) 110330 名義人: 東名化成株式会社

- ※1. 宿泊本料金は宿泊まり料金です。食事は研修員各自に支払わせてください (滞日中の食費は、一括して研修員の口座へ支給済みです)。
- ※2. 研修旅行中の宿泊費については、別途研修旅行申請書をJICA宛に送付下さい。すると同時に宿泊領収証、及び自社工場請求書(公団例)にもご送付下さい。ご請求が、あつた場合は、公団からの振込みが可能となります。

領 収 書

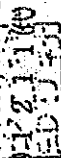
東名仁成様



ホテル プラザニッパ

群馬県新田郡新田町大字野井479-1

TEL 0276(57)2111



H.4.11.3.76/80

I-3-(8)ク. 韓国技術者研修計画研修実施週間記録シート

韓国技術者研修実施週間記録シート

別紙11

記録日: 平成4年11月6日

記録者: 明 延 一

1. 研修員氏名: 盛 浩 根

3. 研修員との面談日

○平成4年11月6日 PM4:30~PM5:00

○面談者: 工場長 明 延 一

2. 週間研修実施状況

月日	曜日	研 修 内 容	
		前 午	後 午
11. 1	月	○2D2Bヘッダー (A0T12L) ○駆動装置関係のキー合せ作業	
11. 3	火	休 日	
11. 4	水	○2D2Bヘッダー (A0T12L) ○矯正機の部品組付作業	
11. 5	木	○2D2Bヘッダー (A0T12L) ○矯正機の部品組付作業	
11. 6	金	○2D2Bヘッダー (A0T12L) ○矯正機、第1カセット、第2TRヘッドの組付作業)	

4. 研修員からの聴取事項 (研修に関するコメント、要望等)

① 2D2Bヘッダーのトラブル箇所と保全について

② 2D2Bヘッダーの部品の熱処理と材質の関係と方法

以上の質問あり説明する。

5. 研修実施機関の所見、対応

① オーパーホール完成後の検査方法の要望あり。

来週のスケジュールで実習対応させる。

異国技術者研修第十四回研修実施要領書記録シート

記録日：平成4年11月13日
 記録者：明 延 一

1. 研修員氏名：陸 浩 根

3. 研修員との面談日
 ○平成4年11月13日 (金) PM 4:00-5:00
 ○エーオー2階会議室
 ○面談者：専務 橋本淳三

2. 週間研修実施状況

月日	曜日	研 修 内 容	
		前 午	後 午
11. 9	月	○麻生戸工作所の見学	
11. 10	火	○2D2Bヘッドー (AOT12L) ○機械試運転 → 調整タイミングの出し方	
11. 11	水	○1D2Bヘッドー (AOS10) ○部品準備作業 (洗浄, 塗装) ○2D2Bヘッドー (AOT12L) ○カムとローラーの不具合 → 原因とその処置	
11. 12	木	○2D2Bヘッドー (AOT12L) ○機械完成後の検査方法と実施 ○1D2Bヘッドー (AOS10) ○部品準備作業 (洗浄, 塗装)	
11. 13	金	○1D2Bヘッドー (AOS10) ○部品仕上作業 (打合せ作業, フレームSR作業)	

4. 研修員からの聴取事項 (研修に関するコメント、要望等)
- ① 今回の明動向AOT-12L型 (OH) をフレームラム組合わせかり入り最終試運転転送を実施し、積戻出しに大変良い体験が出来喜んでいられた。
 - ② 取替部品より摩耗部品の準備をどの様にしているか、特にカムローラー ローラーシャフト、カム修正等で摩耗したものに對し、カムローラー等の摩耗代をどれだけ付けるのか。
5. 研修実施機関の所見、対応
- ① 異国内でヘッドーの修理オーバーホールは良い仕事の為、今回の経験を生かせる様働きかけた。 (上部へ)
 - ② 鮮一さんで今迄8%、10%の機械を約1.5台程作り、社内設備用としている。
 - ③ 残り一週間の為、AOT-12Lをタイミング調整・試打にて製品出し返やりたい要望あり。

陸軍航空技術者研習所航空整備士面談研修実施要領書(要領書)記録シート

記録日：平成4年11月21日

記録者：明 延 一

1 研修員氏名：陸 浩 根

3 研修員との面談日

○平成4年11月21日(土) PM 1:30~5:00

○面談者：工場長 明延一

2 週間研修実施状況

月日	曜日	研 修 内 容	
		午 前	午 後
11.16	月	○2D2Bヘッダー(A0T12L) ○機体完成後の精度チェック、調整作業 ○1D2Bヘッダー(A0H12×120) ○オーバーホールの分解作業	
11.17	火	○1D2Bヘッダー(A0H12×120) ○オーバーホールの分解作業	
11.18	水	○1D2Bヘッダー(A0S10) ○組立作業準備の仕方 ○2D2Bヘッダー(A0T12L) ○顧客立会時の研修	
11.19	木	○1D2Bヘッダー(A0S10) ○部分仕上作業(キー合せ、レバー組立等)	
11.20	金	○オーバーホール機と新品機の組立作業方法	
11.21	土	○協力企業の見学(海部郡)	

4 研修員からの聴取事項(研修に関するコメント、要望等)

○ 研修で学んだことを実際に活用してきたいとの事。

5 研修実施機関の所見、対応

① オーバーホールについての作業手順、方法の習得、並びに検査方法、試運転、調整までの全ての作業を習得した。今後は実務で生かすことが必要です。

② 上記の方に新品機一部実習をしたが、オーバーホールと新品機で水平展開すればメンテナンスの技術にも役立つ。

③ 協力企業(加工関係)の見学により、部品加工製作の参考になったと思う。

④ 日本の企業及び文化に接して、今後の期待するところである。

草薙国技技術者研修者研修者十週研修実施計画書記録シート

記録日 : 平成 24 年 10 月 2 日
 記録者 : 上 杉 林

1. 研修員氏名 : 李 良 勳

3. 研修員との面談日

10/2

2. 適期研修実施状況

月 日	曜日	研 修 内 容	
		午 前	午 後
9/29	火	スチームアイロン SL-2000L 機能説明	"
9/30	水	SL-2000L 分解組立	SL-20 分解組立
10/1	木	SL-2000L 把手ユニット アイロン組立実習	"
10/2	金	SL-2000L クミナルセット 工程実習	"

4. 研修員からの聴取事項 (研修に関するコメント、要望等)

通勤の時間がかかると朝の出勤時刻
を 8:30 からスタートとする。

5. 研修実施機関の所見、対応

研修日程に基づき所轄しているが特に
職場の自動化に目を向けたいと持たている

草率国技支術者研修開土画研修実方在週間言己録シ一ト

記録日 : 平成 10 年 10 月 9 日
 記録者 : 上杉 休

1. 研修員氏名 : 李 京 勤

3. 研修員との面談日
 199.

2. 週間研修実施状況

月 日	曜日	研 修 内 容	
		午 前	午 後
10/5	月	コードリールセッ 工程 実習	"
10/6	火	製品修正 実習 (SL-2000t)	" (SL-20)
10/7	水	組立 Line Lay out 図作成	Handle Abn Line Lay out 図作成
10/8	木	ベース 生産 Line 見學	Line lay out 図 作成
10/9	金	自動了イロノ Line 説明	口AWT 部品 理解

4. 研修員からの聴取事項 (研修に関するコメント、要望等)
 部品加工 (バムクル) 工場の見学をしたことの
 要望

5. 研修実施機関の所見、対応
 各工程と作業者の一員として作業を体験し
 たいのであり、研修で対応する

草率国技技術者五開イ修言十画五開イ修実方在週間言己録シ一ト

記録日 : 平成 24 年 10 月 16 日
 記録者 : 上 杉 休

1. 研修員氏名 : 李 東 勤

3. 研修員との面談日
 10/13 10/15 10/16

2. 週間研修実施状況

月 日	曜日	研 修 内 容	
		午 前	午 後
10/12	月	DIAWTの分解組立	DIAWTの修正実習
10/13	火	DIAWT リ-ド板セット工程実習	"
10/14	水	DIAWT Handle Asm 組立工程	ベース生産工程
10/15	木	温度 setting 工程理解	温度 setting 厚 検討
10/16	金	組立 line Lay out 図 作成	Handle Asm Line Lay out 図 作成

4. 研修員からの取組事項 (研修に関するコメント、要望等)

工程に入る仕事をしているとお命のししい解修が
 できたいの事でお図で打印とした

5. 研修実施機関の所見、対応

各工程又は工程等のト-ハ内に勉強しよう
 日々努力されている

草摺国技技術者研修會十画研修實施要方施週間言己録シ一ト

記録日 : 平成×年 10月×日
 記録者 : 上 杉 休

1. 研修員氏名 : 李 貞勳

3. 研修員との面談日

10/19 10/22

2. 週間研修実施状況

月 日	曜 日	研 修 内 容	
		午 前	午 後
10/19	月	ベース加工 Line 見學 と Log Cut 作成	"
10/20	火	S/W Asm 組立 Line の 名 Label の 特 性 理 解	"
10/21	水	成形部品 Line 見學	成形部品の材料と 射出條件理解
10/22	木	LTV 塗布機	Bimetal 加工工場 見學
10/23	金	成形部品の自動 倉庫物流 system 理解	

4. 研修員からの聴取事項 (研修に関するコメント、要望等)

成形部品の加工の職場見學と工法を
 研修したいとの要望があったので
 研修の戻施

5. 研修実施機関の所見、対応

現在手組は組立研修で研修が卒業部全体
 を見つけ研修をされている

I-3-(9) エバリュエーション
第9次韓国技術者研修現地調査票

第9次韓国技術者研修 現地調査票

① 調査対象企業

企業数 16

研修員数 30

- | | | | | |
|-------------------|----------------|--|--|--|
| ①. 中部冷間 (愛知県) | 金 東翼 | | | |
| 2. 加藤製作所 (岐阜県) | 張 錫福、佳 榮壽 | | | |
| 3. 旭サナック (愛知県) | 陸 浩根 | | | |
| 4. 棚橋食品 (滋賀県) | 朴 大喜、池 龍洙 | | | |
| 5. ニッチ (大阪府) | 金 徳洙 | | | |
| 6. 淡路産業 (大阪府) | 李 成熙 | | | |
| 7. ナガト (広島県) | 崔 哲林、張 漢圭 | | | |
| 8. 大盛鉄工所 (広島県) | 扈 鍾佑、李 永洙、鄭 然泰 | | | |
| | 白 雲吉、裴 龍赫、崔 金沃 | | | |
| 9. 山川工業 (静岡県) | 河 洛泓、金 鉉孝 | | | |
| 10. 昭和熱処理 (昭島市) | 金 顔杰 | | | |
| 11. タイトゥ (川口市) | 朴 炳洙 | | | |
| 12. オカノ電機 (東久留米市) | 姜 賢元、金 景銀 | | | |
| 13. 大昌電子 (大田区) | 高 永周、金 伯俊、林 昌吉 | | | |
| | 玄 振浩 | | | |
| (6か月) | | | | |
| 14. 東京自動機 (荒川区) | 羅 承竣 | | | |
| 15. 富士テクニカ (静岡県) | 申 炳俊 | | | |
| 16. 小林金型 (新潟県) | 吳 昌眩、柳 承宅 | | | |

② 調査期間

10月26日 ~ 11月16日

③ 調査目的

入管法に抵触する企業の有無、及び実情調査
研修員の現状調査

④ 調査内容

別紙参照

⑤ 調査方法

受入企業、及び担当者、指導者からの現状報告の聴取
研修員からの現状聴取 (研修員からは日本語と韓国語で)
双方からの現状聴取後、現場視察

⑥ 所要時間

1企業 約3時間

④ 調査内容

I. 研修カリキュラム・研修計画書参照

- II. 現状 (研修員)
- ・経費 (日当、生活費、宿泊料、研修旅費、通勤費、等)
 - ・経費上の問題点
 - ・研修内容 (指導方法、研修方法、教材、等)
 - ・コミュニケーション (日本語)
 - ・オリエンテーションプログラム
 - ・宿泊
 - ・日常生活での問題点 (食事、等)
 - ・休日の過ごし方
 - ・その他、問題点

(企業)

- ・経費上の問題点
- ・研修内容 (指導方法、研修方法、教材、等)
- ・研修態度、意欲
- ・コミュニケーション (日本語)
- ・日常生活での問題点
- ・その他、問題点

III. 将来性

- ・研修の必要性の有無
- ・公的機関の必要性

IV. 入国管理法上の問題点

- ・日本人従業員 (総数)
- ・JICA研修員以外の外国人労働者数
- ・研修員の労働 (研修) 時間、及び昼休み
- ・研修内容

V. 最終評価

⑤ 添付資料

- ✓研修計画書
- ✓連絡票
- ✓研修旅行計画書
- ✓研修員アプリケーションフォーム

第9次韓国技術者研修計画企業視察のポイント

1. 入国管理法上の問題点

- (1) 視察対象となる企業の日本人従業員数（総数）
- (2) JICA研修員以外の外国人労働者数
- (3) 研修員の労働【研修】時間

ア. 月曜日から●曜日まで毎日朝●●：●●～夜●●：●●まで

イ. 上記の内屋休み●●：●●～●●：●●まで

- (4) 研修内容（研修員が労働力として使われているか）

2. 研修実施に当たっての問題点

- (1) 研修員が本件特別案件の経費の流れを理解しているか

{	日当……………振興公団から研修員の口座へ振込（2,150 円／日）
	生活費……………振興公団から研修員の口座へ振込（2,750 円／日）
	宿泊料……………振興公団から宿泊先の口座へ振込（実費）
	研修旅費……………JICAより研修員の口座に振込（実費）
	通勤費……………JICAより研修員の口座に振込（実費）

※ゆえに食費はすべて自分で賄わなくてはならない。

- (2) 上記経費面で受入先とトラブルはないか
- (3) 研修内容に満足しているか
- (4) 言葉の問題はないか
- (5) 現時点でリインテグレーションはこうあるべきだったと思うことはあるか
- (6) 宿泊施設で問題点はあるか
- (7) 日常生活での問題点
- (8) 休日の過ごし方
- (9) その他